

保護者-23-2. あなたの気持ちを察して思いやってくれる人

② あなたの気持ちを察して思いやってくれる人 （あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪市福島区の保護者全体では、「いる」が83.1%、「いない」が7.9%、「わからない」が8.1%、「無回答」が0.9%であった。

小学5年生の保護者では、「いる」が86.4%、「いない」が7.4%、「わからない」が5.5%、「無回答」が0.7%であった。

中学2年生の保護者では、「いる」が79.3%、「いない」が8.4%、「わからない」が11.2%、「無回答」が1.1%であった。

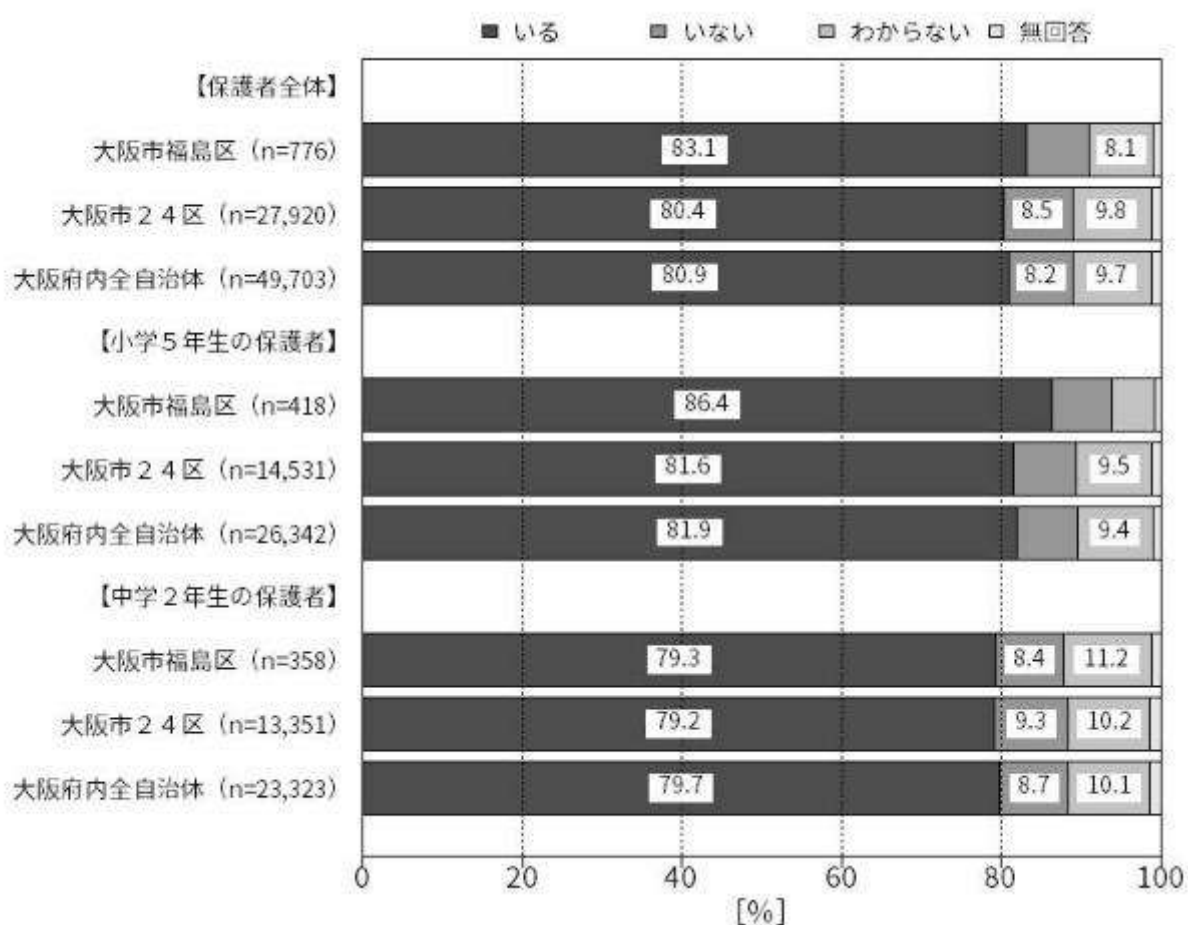


図 93. あなたの気持ちを察して思いやってくれる人

保護者-23-3. 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人

③ 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人 （あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪市福島区の保護者全体では、「いる」が85.1%、「いない」が7.6%、「わからない」が6.4%、「無回答」が0.9%であった。

小学5年生の保護者では、「いる」が86.8%、「いない」が6.7%、「わからない」が5.5%、「無回答」が1.0%であった。

中学2年生の保護者では、「いる」が83.0%、「いない」が8.7%、「わからない」が7.5%、「無回答」が0.8%であった。

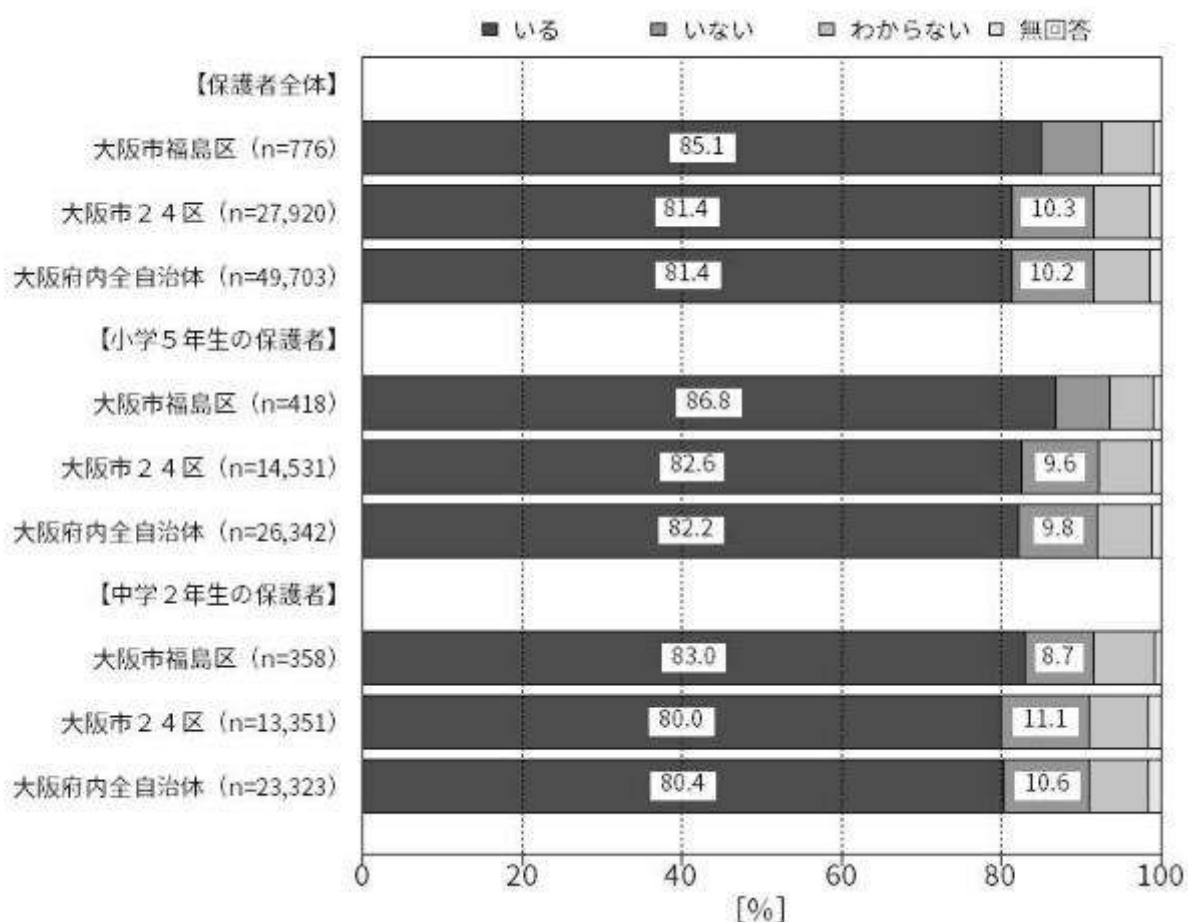


図 94. 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人

保護者-23-4. 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人

④ 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪市福島区の保護者全体では、「いる」が81.4%、「いない」が7.5%、「わからない」が10.1%、「無回答」が1.0%であった。

小学5年生の保護者では、「いる」が85.4%、「いない」が6.2%、「わからない」が7.7%、「無回答」が0.7%であった。

中学2年生の保護者では、「いる」が76.8%、「いない」が8.9%、「わからない」が12.8%、「無回答」が1.4%であった。

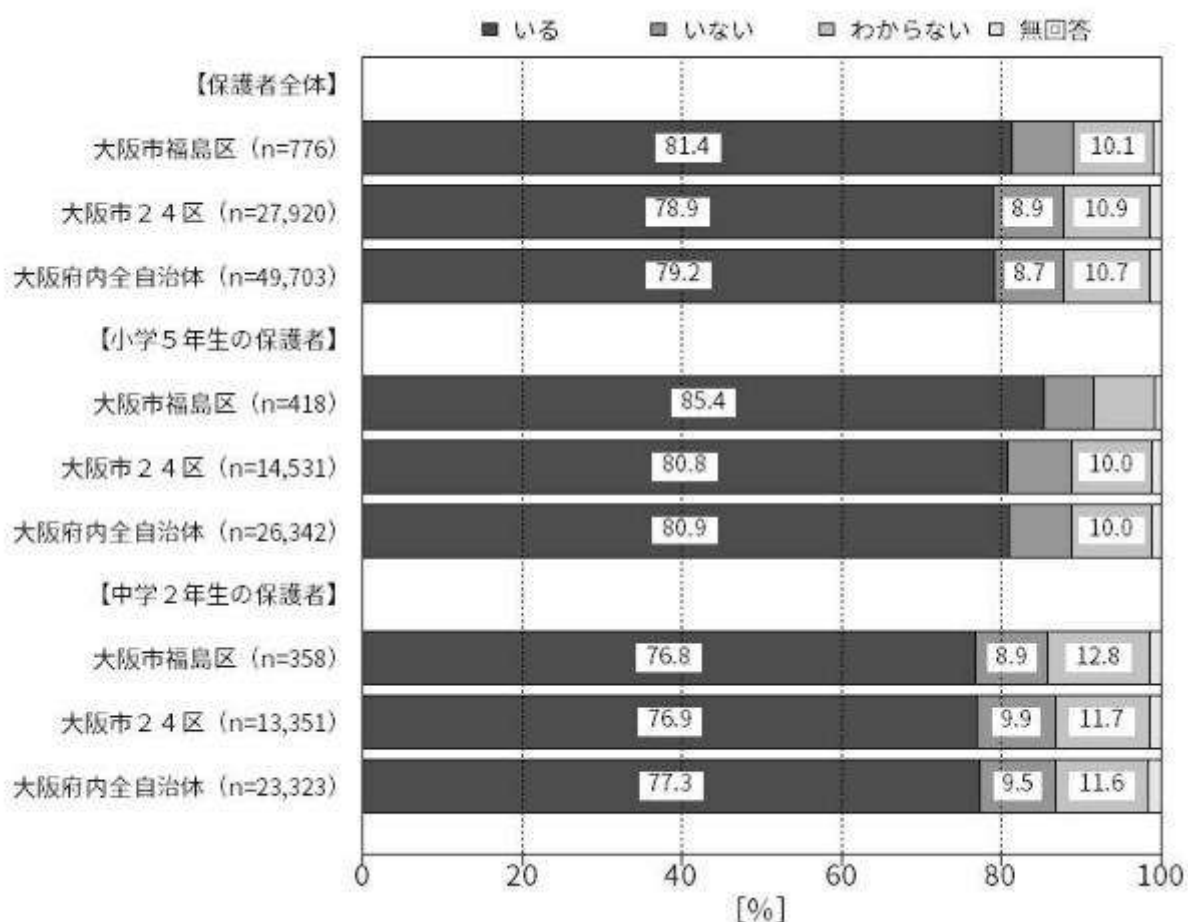


図 95. 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人

保護者-23-5. 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）

⑤ 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪市福島区の保護者全体では、「いる」が74.0%、「いない」が10.8%、「わからない」が14.4%、「無回答」が0.8%であった。

小学5年生の保護者では、「いる」が79.2%、「いない」が8.9%、「わからない」が11.2%、「無回答」が0.7%であった。

中学2年生の保護者では、「いる」が67.9%、「いない」が13.1%、「わからない」が18.2%、「無回答」が0.8%であった。

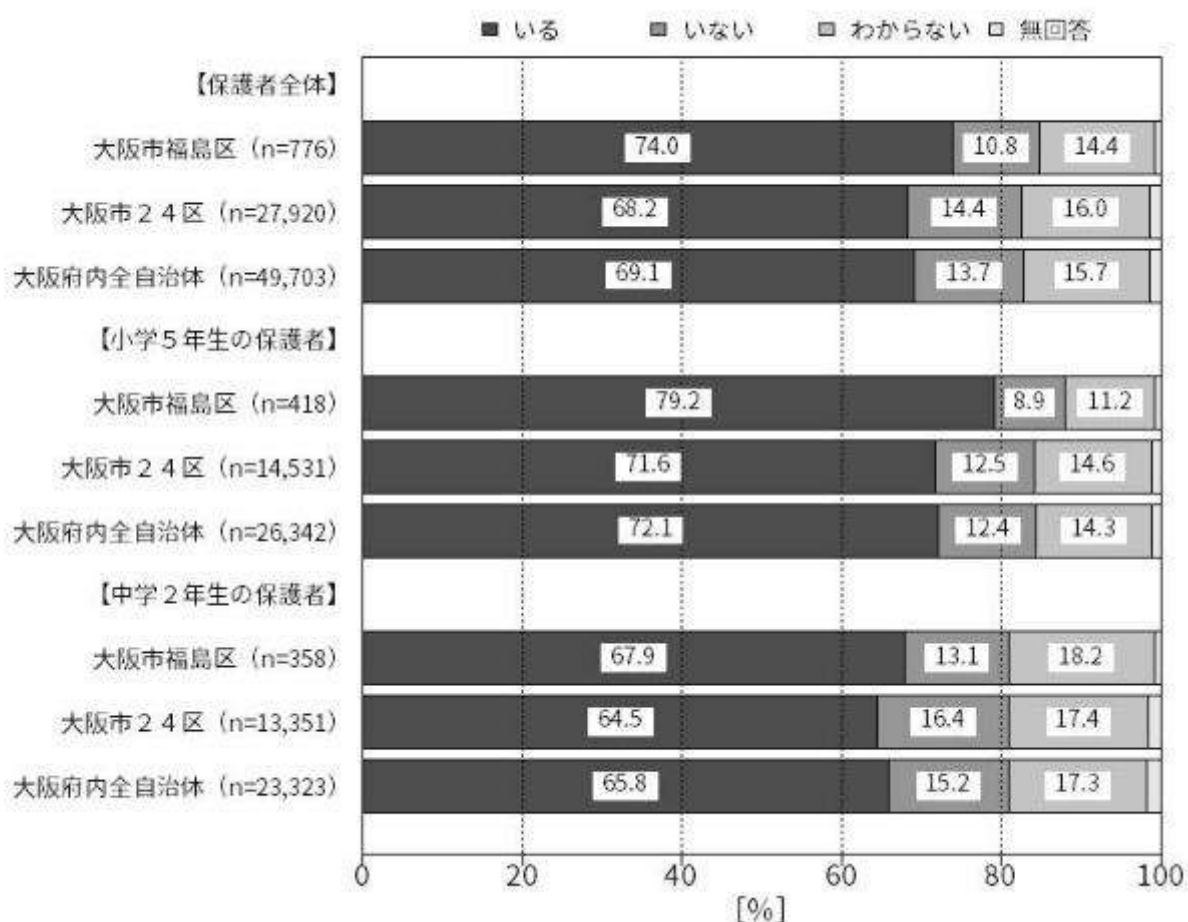


図 96. 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）

保護者-23-6. 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人

⑥ 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪市福島区の保護者全体では、「いる」が69.6%、「いない」が25.3%、「わからない」が4.0%、「無回答」が1.2%であった。

小学5年生の保護者では、「いる」が71.5%、「いない」が23.9%、「わからない」が3.8%、「無回答」が0.7%であった。

中学2年生の保護者では、「いる」が67.3%、「いない」が26.8%、「わからない」が4.2%、「無回答」が1.7%であった。

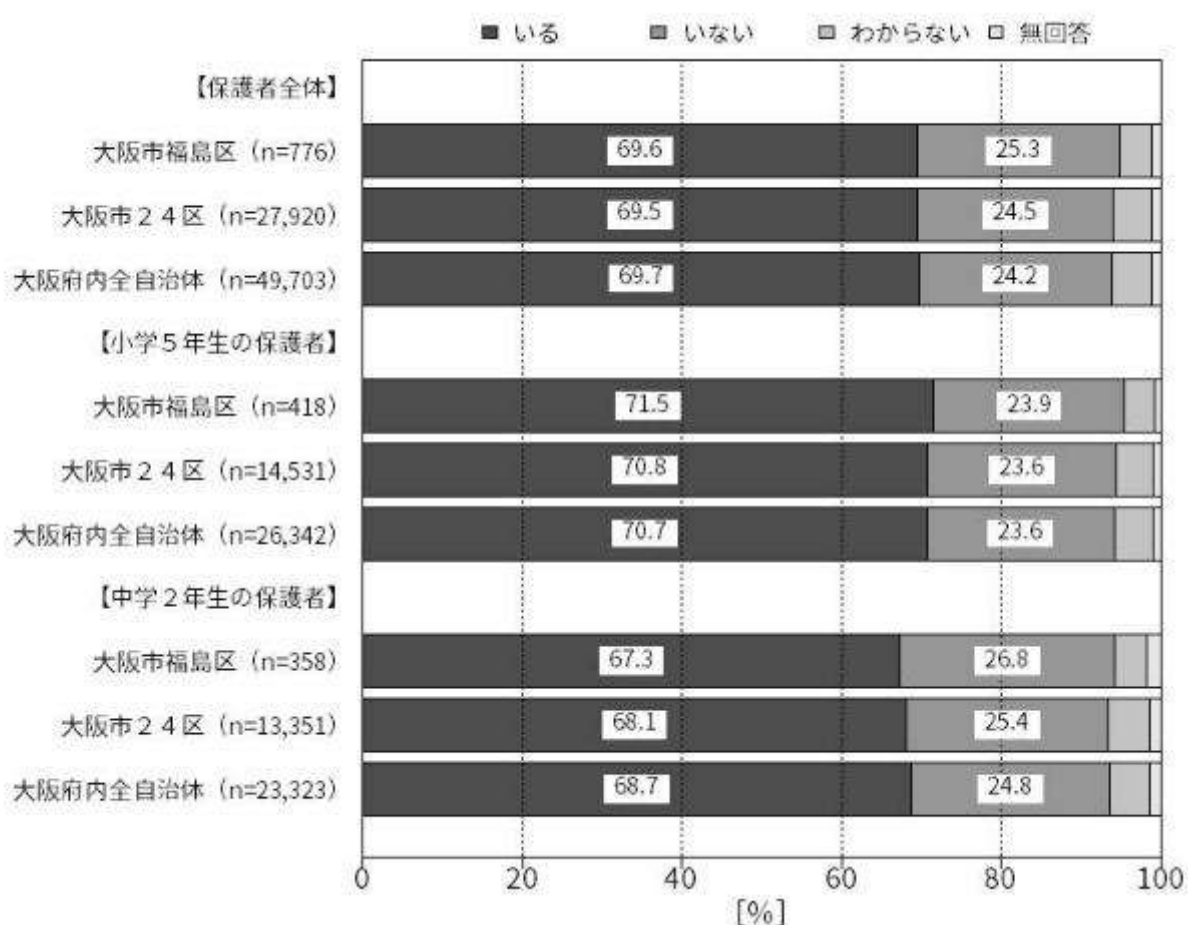


図 97. 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人

保護者-23-7. 留守を頼める人

⑦ 留守を頼める人 （あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪市福島区の保護者全体では、「いる」が67.3%、「いない」が26.2%、「わからない」が5.5%、「無回答」が1.0%であった。

小学5年生の保護者では、「いる」が70.8%、「いない」が23.7%、「わからない」が4.8%、「無回答」が0.7%であった。

中学2年生の保護者では、「いる」が63.1%、「いない」が29.1%、「わからない」が6.4%、「無回答」が1.4%であった。

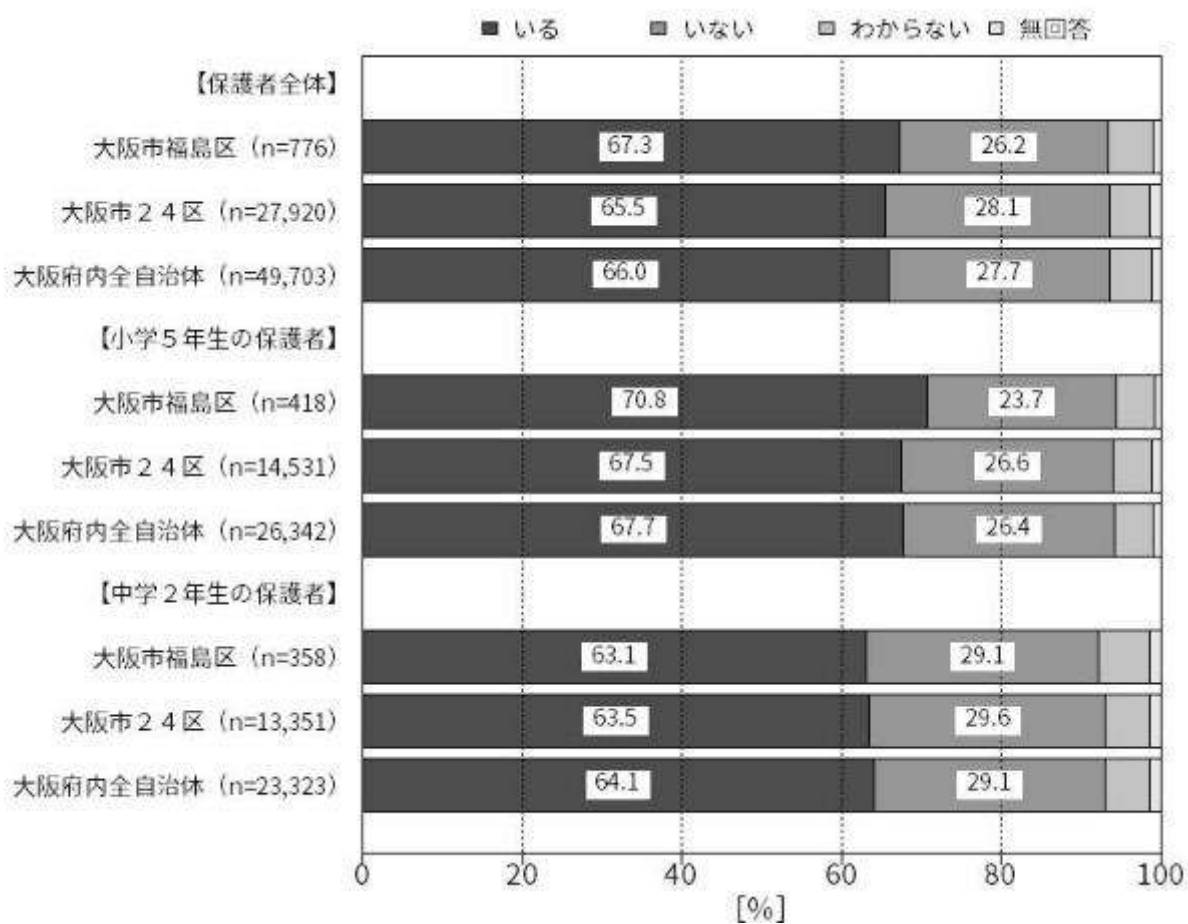


図 98. 留守を頼める人

保護者-24. 困ったときの相談先

あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪市福島区の保護者全体では、「配偶者・パートナー」が 70.5%、「自分の親」が 65.9%、「近隣に住む知人や友人」が 44.7%、「きょうだい・その他の親戚」が 38.3%、「近隣に住んでいない知人や友人」が 25.9%の順に高くなっている。

小学5年生の保護者では、「配偶者・パートナー」が 72.7%、「自分の親」が 67.7%、「近隣に住む知人や友人」が 49.8%、「きょうだい・その他の親戚」が 38.0%、「近隣に住んでいない知人や友人」が 26.6%の順に高くなっている。

中学2年生の保護者では、「配偶者・パートナー」が 67.9%、「自分の親」が 63.7%、「近隣に住む知人や友人」が 38.8%、「きょうだい・その他の親戚」が 38.5%、「近隣に住んでいない知人や友人」が 25.1%の順に高くなっている。

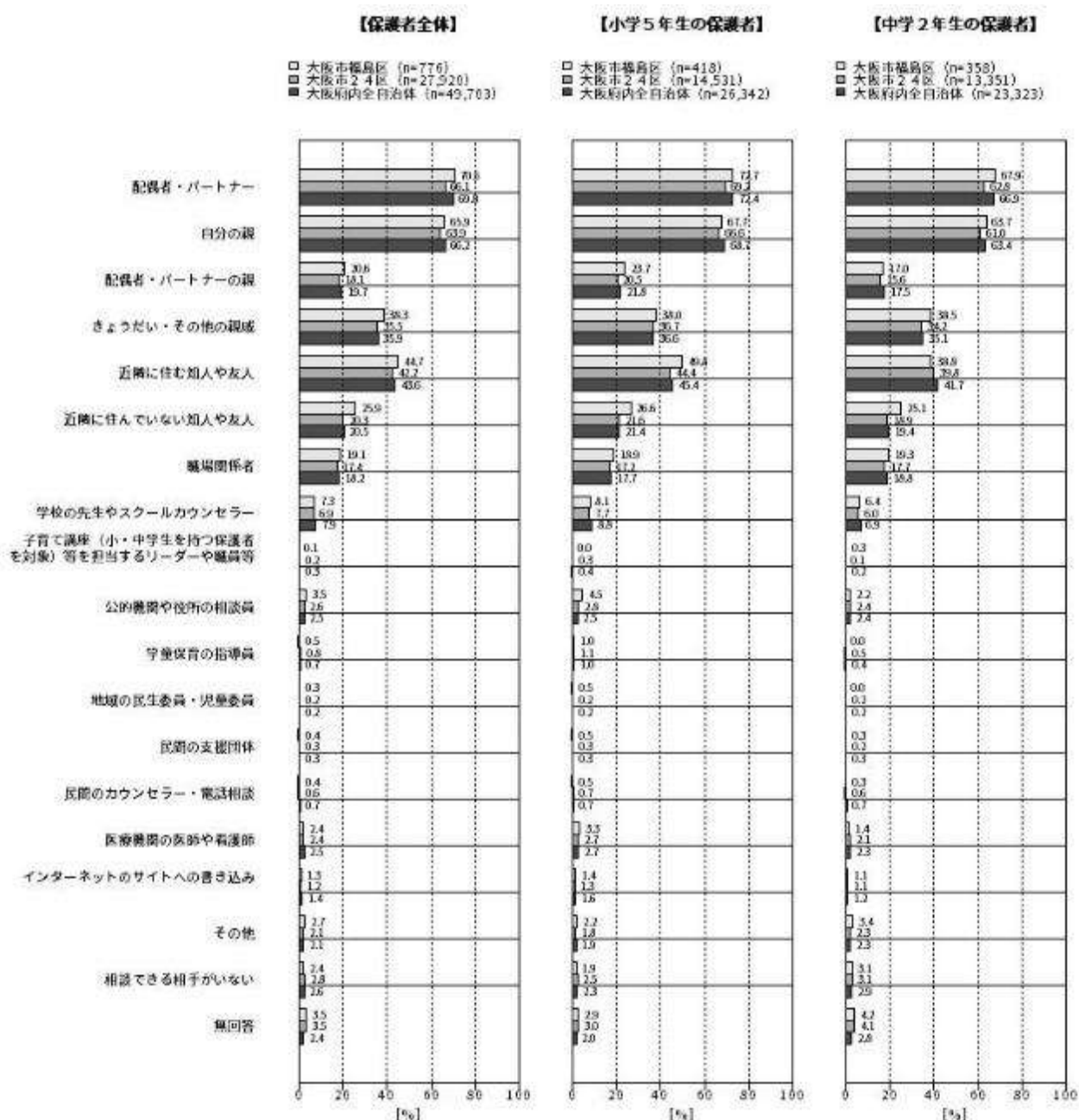


図 99. 困ったときの相談先

子ども-22. 嫌なことや悩んでいるときの相談相手

あなたは、いやなことや悩んでいることがあるとき、だれかに相談しますか。(だれに話しますか。)
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

大阪市福島区の全体では、「親」が 63.0%、「学校のともだち」が 44.2%、「きょうだい」が 15.2%、「担任の先生や他のクラスの先生」が 15.2%、「だれにも相談したくない」が 10.5%の順に高くなっている。

小学5年生では、「親」が 68.8%、「学校のともだち」が 40.3%、「きょうだい」が 16.4%、「担任の先生や他のクラスの先生」が 16.4%、「おばあちゃん・おじいちゃん」が 12.3%の順に高くなっている。

中学2年生では、「親」が 56.3%、「学校のともだち」が 48.7%、「きょうだい」が 13.7%、「担任の先生や他のクラスの先生」が 13.7%、「わからない」が 11.5%の順に高くなっている。

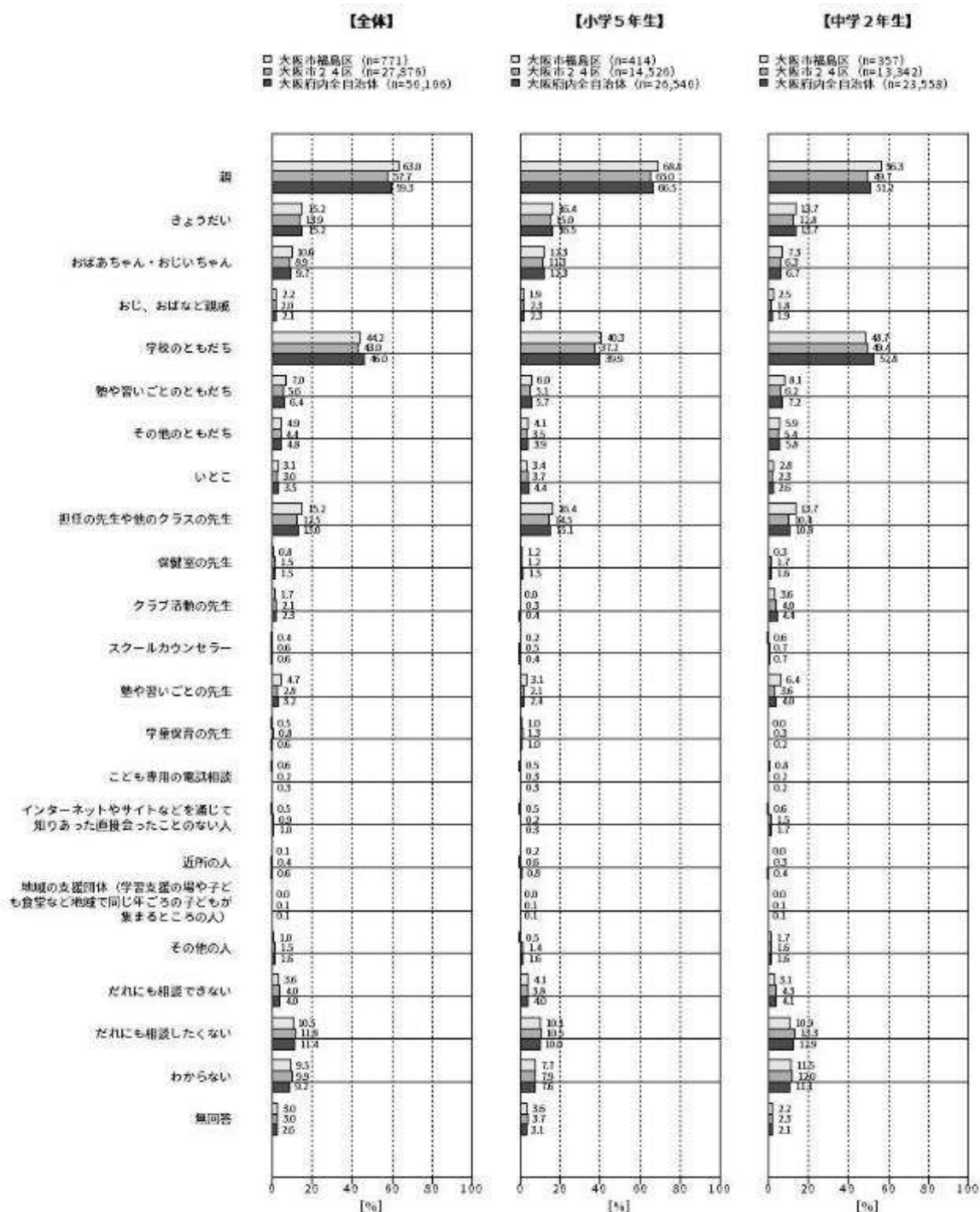


図 100. 嫌なことや悩んでいるときの相談相手

子ども23-1. 失敗したときに助けてくれる人

① 失敗したときに助けてくれる人 （あてはまる番号すべてに○をつけてください）

大阪市福島区の全体では、「お母さん」が78.2%、「ともだち」が63.3%、「お父さん」が52.3%、「おじいさん・おばあさん」が31.3%、「きょうだい」が26.5%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が82.6%、「ともだち」が61.6%、「お父さん」が58.7%、「おじいさん・おばあさん」が34.5%、「きょうだい」が29.7%の順に高くなっている。

中学2年生では、「お母さん」が73.1%、「ともだち」が65.3%、「お父さん」が44.8%、「おじいさん・おばあさん」が27.5%、「きょうだい」が22.7%の順に高くなっている。

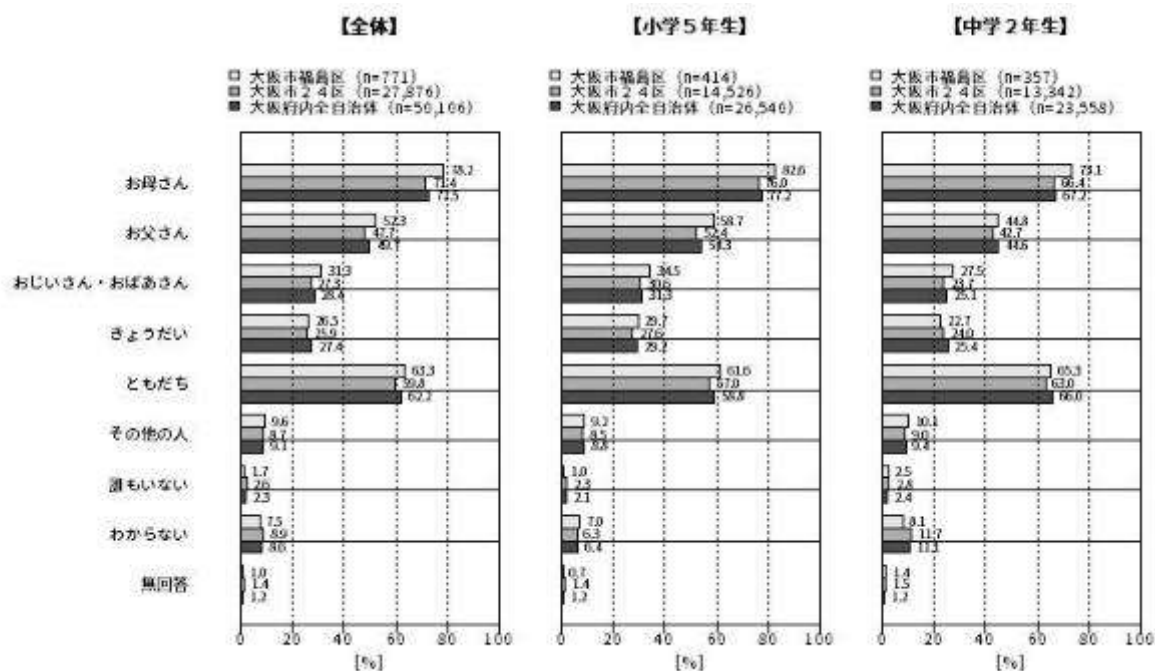


図 101. 失敗したときに助けてくれる人

子ども-23-2. 頑張ったときにほめてくれる人

② 頑張ったときにほめてくれる人 （あてはまる番号すべてに○をつけてください）

大阪市福島区の全体では、「お母さん」が 83.9%、「お父さん」が 64.7%、「おじいさん・おばあさん」が 44.2%、「ともだち」が 36.6%、「きょうだい」が 20.2%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が 88.6%、「お父さん」が 70.5%、「おじいさん・おばあさん」が 51.2%、「ともだち」が 32.9%、「きょうだい」が 23.7%の順に高くなっている。

中学2年生では、「お母さん」が 78.4%、「お父さん」が 58.0%、「ともだち」が 40.9%、「おじいさん・おばあさん」が 36.1%、「きょうだい」が 16.2%の順に高くなっている。

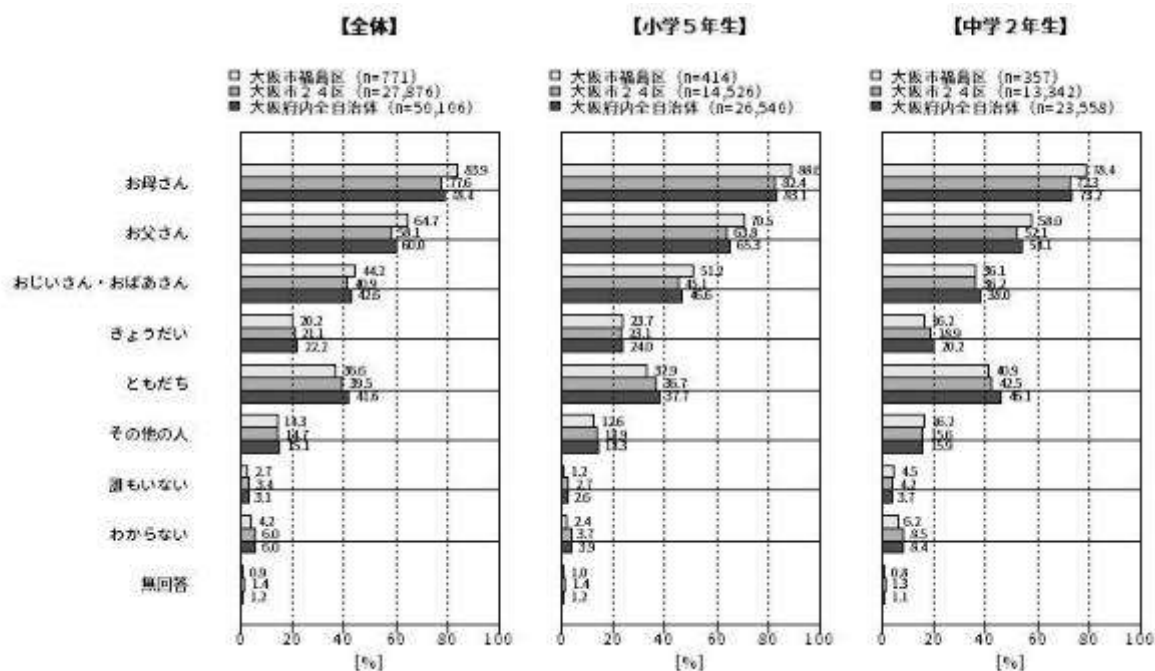


図 102. 頑張ったときにほめてくれる人

子ども23-3. 一人でできないときに手伝ってくれる人

③ 一人でできないときに手伝ってくれる人 (あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪市福島区の全体では、「ともだち」が62.5%、「お母さん」が61.2%、「お父さん」が43.1%、「おじいさん・おばあさん」が28.3%、「きょうだい」が24.1%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が65.7%、「ともだち」が58.9%、「お父さん」が48.1%、「おじいさん・おばあさん」が30.7%、「きょうだい」が24.6%の順に高くなっている。

中学2年生では、「ともだち」が66.7%、「お母さん」が56.0%、「お父さん」が37.3%、「おじいさん・おばあさん」が25.5%、「きょうだい」が23.5%の順に高くなっている。

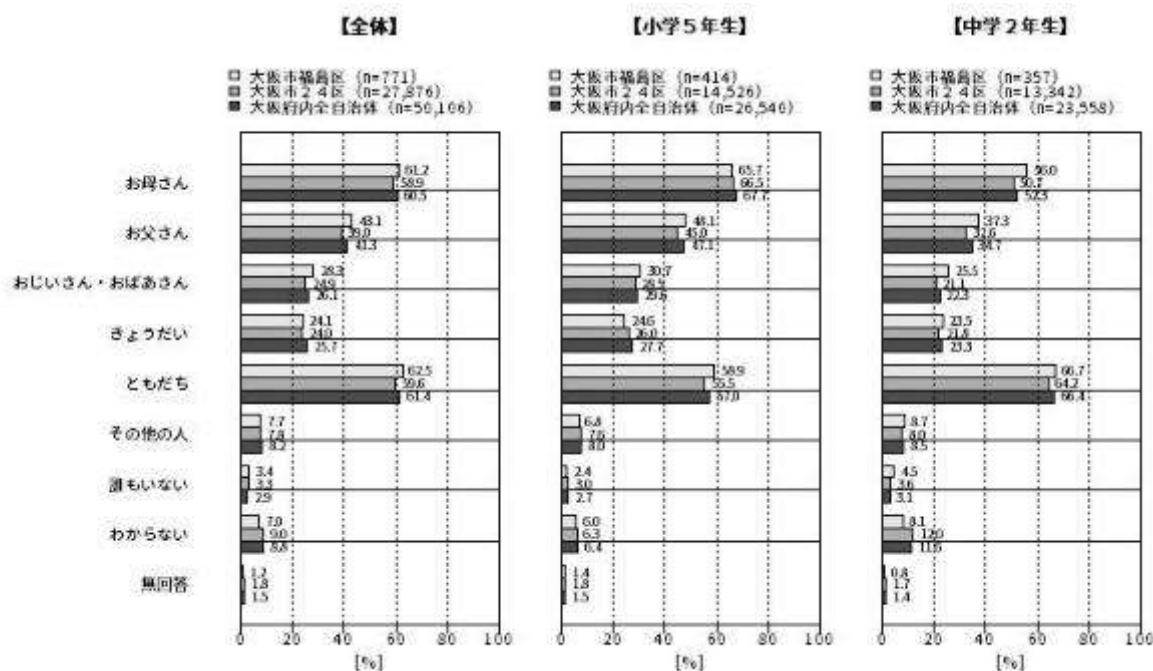


図 103. 一人でできないときに手伝ってくれる人

子ども-23-4. あなたの気持ちをわかってくれる人

④ あなたの気持ちをわかってくれる人 (あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪市福島区の全体では、「お母さん」が72.0%、「お父さん」が46.8%、「ともだち」が42.9%、「おじいさん・おばあさん」が33.1%、「きょうだい」が25.8%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が77.3%、「お父さん」が53.6%、「ともだち」が40.1%、「おじいさん・おばあさん」が35.5%、「きょうだい」が28.5%の順に高くなっている。

中学2年生では、「お母さん」が65.8%、「ともだち」が46.2%、「お父さん」が38.9%、「おじいさん・おばあさん」が30.3%、「きょうだい」が22.7%の順に高くなっている。

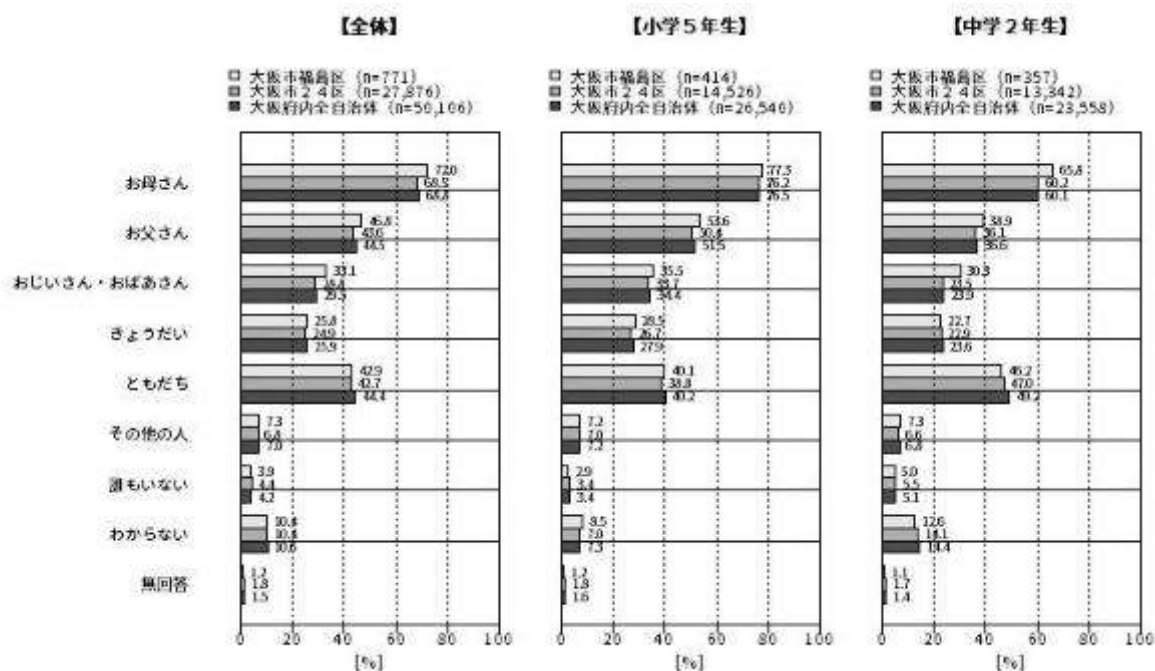


図 104. あなたの気持ちをわかってくれる人

子ども-23-5. あなたのことを信じてくれる人

⑤ あなたのことを信じてくれる人 （あてはまる番号すべてに○をつけてください）

大阪市福島区の全体では、「お母さん」が 74.7%、「お父さん」が 58.4%、「おじいさん・おばあさん」が 42.7%、「ともだち」が 42.5%、「きょうだい」が 30.4%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が 75.6%、「お父さん」が 62.3%、「おじいさん・おばあさん」が 44.0%、「ともだち」が 40.3%、「きょうだい」が 31.2%の順に高くなっている。

中学2年生では、「お母さん」が 73.7%、「お父さん」が 53.8%、「ともだち」が 45.1%、「おじいさん・おばあさん」が 41.2%、「きょうだい」が 29.4%の順に高くなっている。

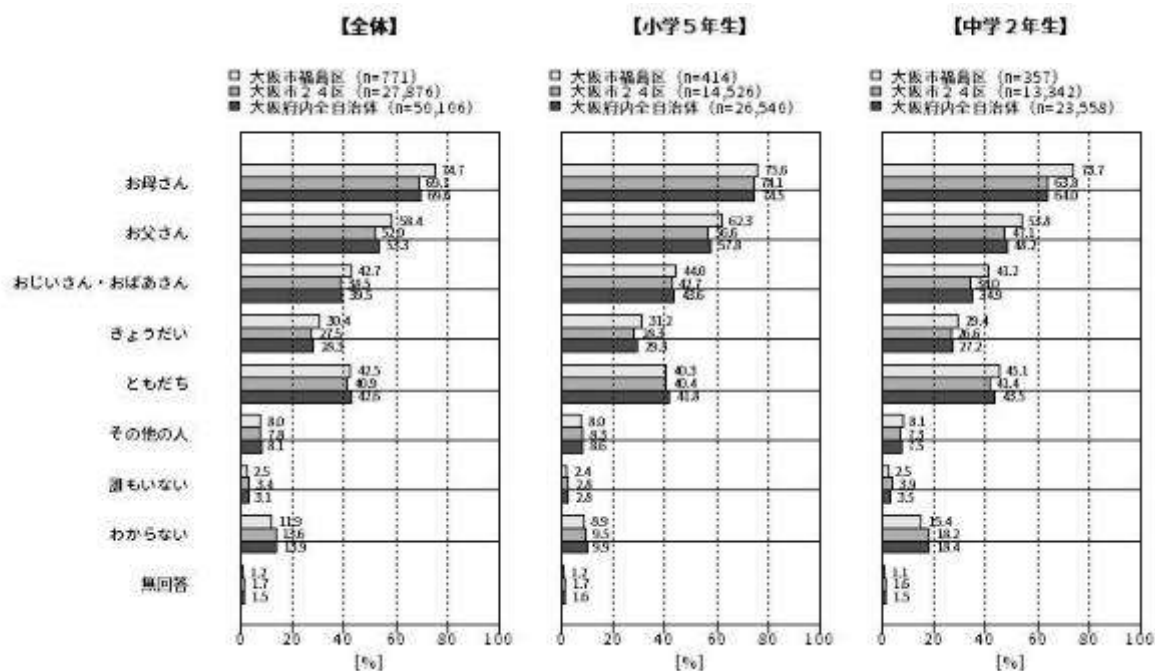


図 105. あなたのことを信じてくれる人

子ども-23-6. 悩んだときの対処を教えてください

⑥ 悩んだときの対処を教えてください (あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪市福島区の全体では、「お母さん」が73.9%、「お父さん」が47.3%、「ともだち」が45.9%、「おじいさん・おばあさん」が29.3%、「きょうだい」が20.1%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が81.4%、「お父さん」が56.0%、「ともだち」が44.4%、「おじいさん・おばあさん」が34.8%、「きょうだい」が23.9%の順に高くなっている。

中学2年生では、「お母さん」が65.3%、「ともだち」が47.6%、「お父さん」が37.3%、「おじいさん・おばあさん」が23.0%、「きょうだい」が15.7%の順に高くなっている。

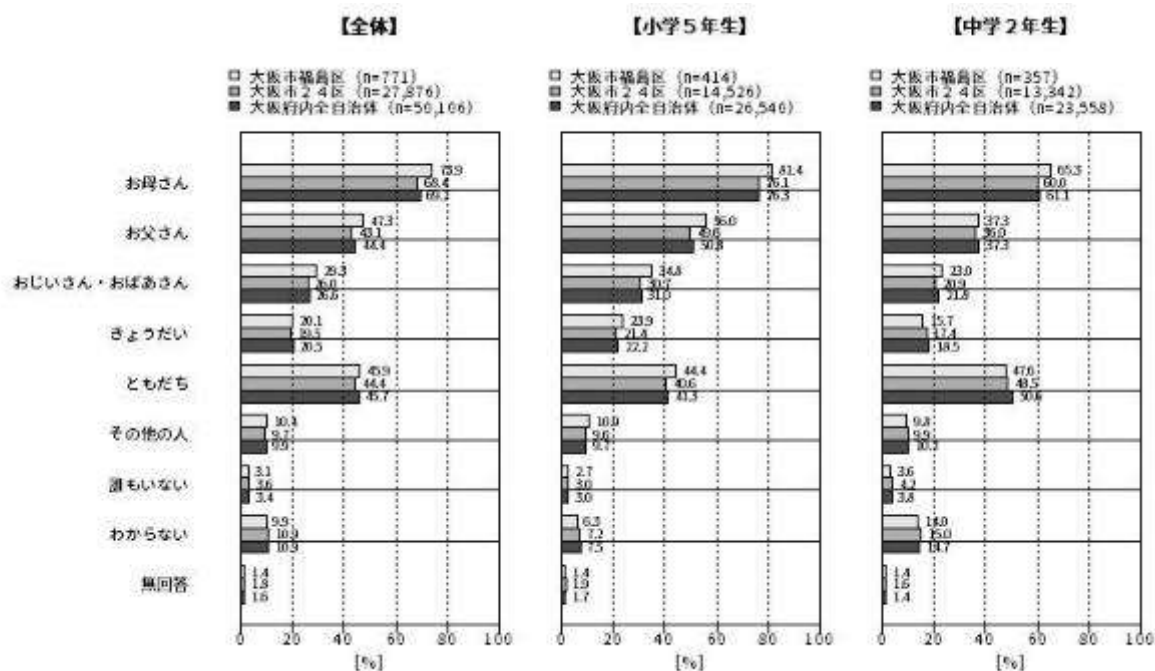


図 106. 悩んだときの対処を教えてください

子ども-23-7. 良いところ、良くないところをわかってくれる人

⑦ 良いところ、良くないところをわかってくれる人（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

大阪市福島区の全体では、「お母さん」が82.5%、「お父さん」が60.7%、「ともだち」が44.6%、「おじいさん・おばあさん」が36.6%、「きょうだい」が31.4%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が86.5%、「お父さん」が66.2%、「おじいさん・おばあさん」が39.4%、「ともだち」が38.6%、「きょうだい」が33.8%の順に高くなっている。

中学2年生では、「お母さん」が77.9%、「お父さん」が54.3%、「ともだち」が51.5%、「おじいさん・おばあさん」が33.3%、「きょうだい」が30.7%の順に高くなっている。

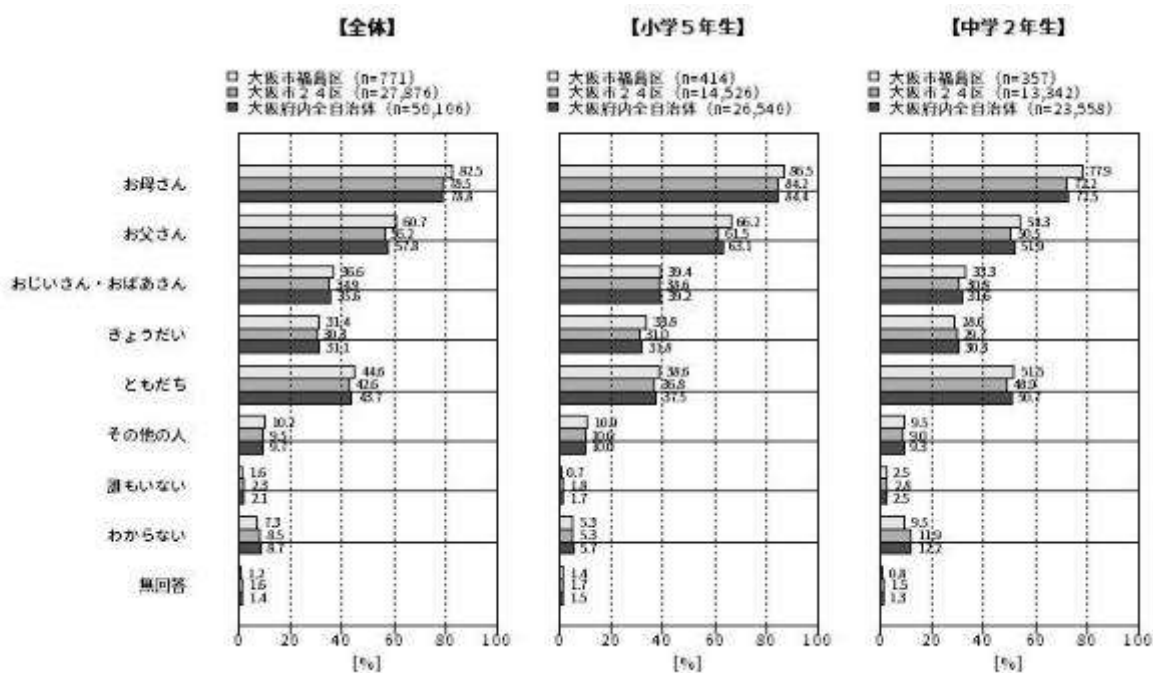


図 107. 良いところ、良くないところをわかってくれる人

子ども23-8. あなたのことを大切にしてくれる人

⑧ あなたのことを大切にしてくれる人 (あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪市福島区の全体では、「お母さん」が88.2%、「お父さん」が73.9%、「おじいさん・おばあさん」が60.3%、「ともだち」が51.8%、「きょうだい」が43.5%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が91.3%、「お父さん」が76.8%、「おじいさん・おばあさん」が64.3%、「ともだち」が48.1%、「きょうだい」が45.9%の順に高くなっている。

中学2年生では、「お母さん」が84.6%、「お父さん」が70.6%、「ともだち」が56.0%、「おじいさん・おばあさん」が55.7%、「きょうだい」が40.6%の順に高くなっている。

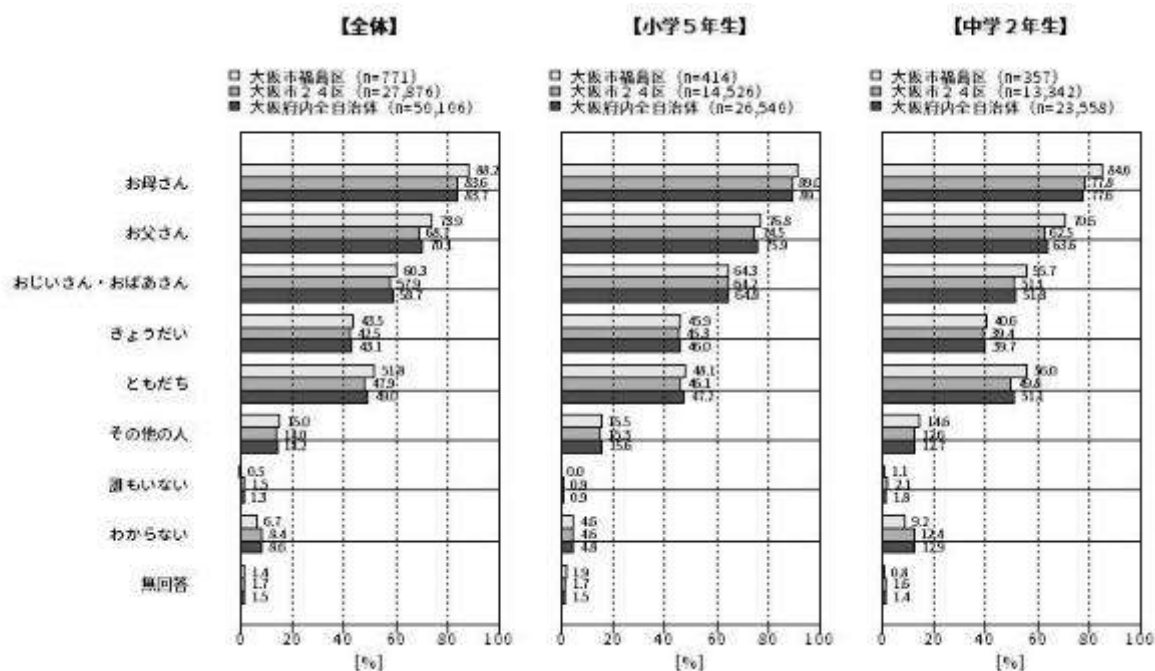


図 108. あなたのことを大切にしてくれる人

3. クロス集計および分析結果

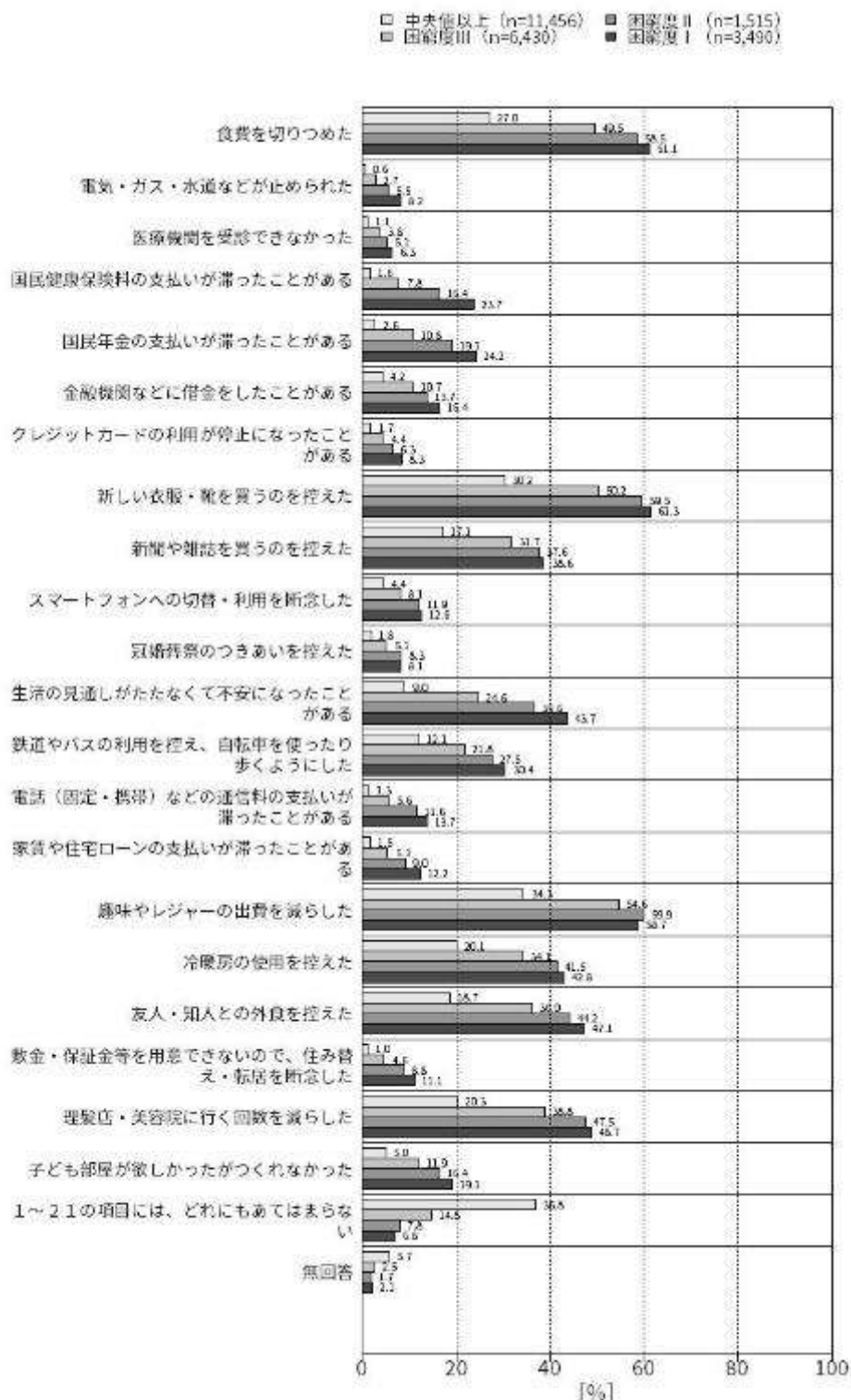
以下のグラフは、主に困窮度別（大阪市 24 区での分類に基づく）に示している。大阪市 24 区全体の傾向については記述していないが、多くにおいて同様の傾向が見られる。

3-1. 基本情報

（1）経済状況

困窮度別に見た、経済的な理由による経験（保護者票 問 7）

<大阪市 24 区>



<大阪市福島区>

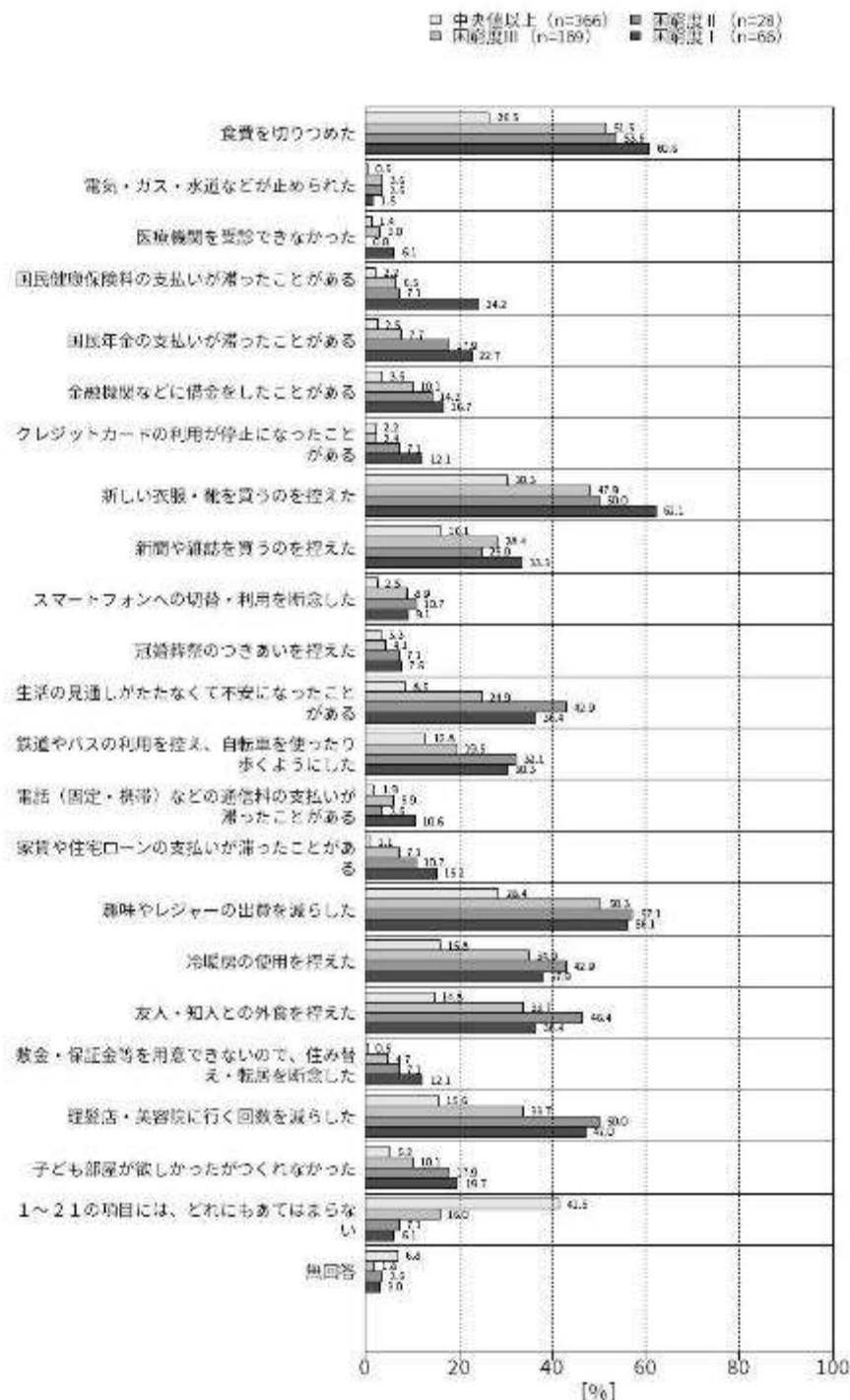


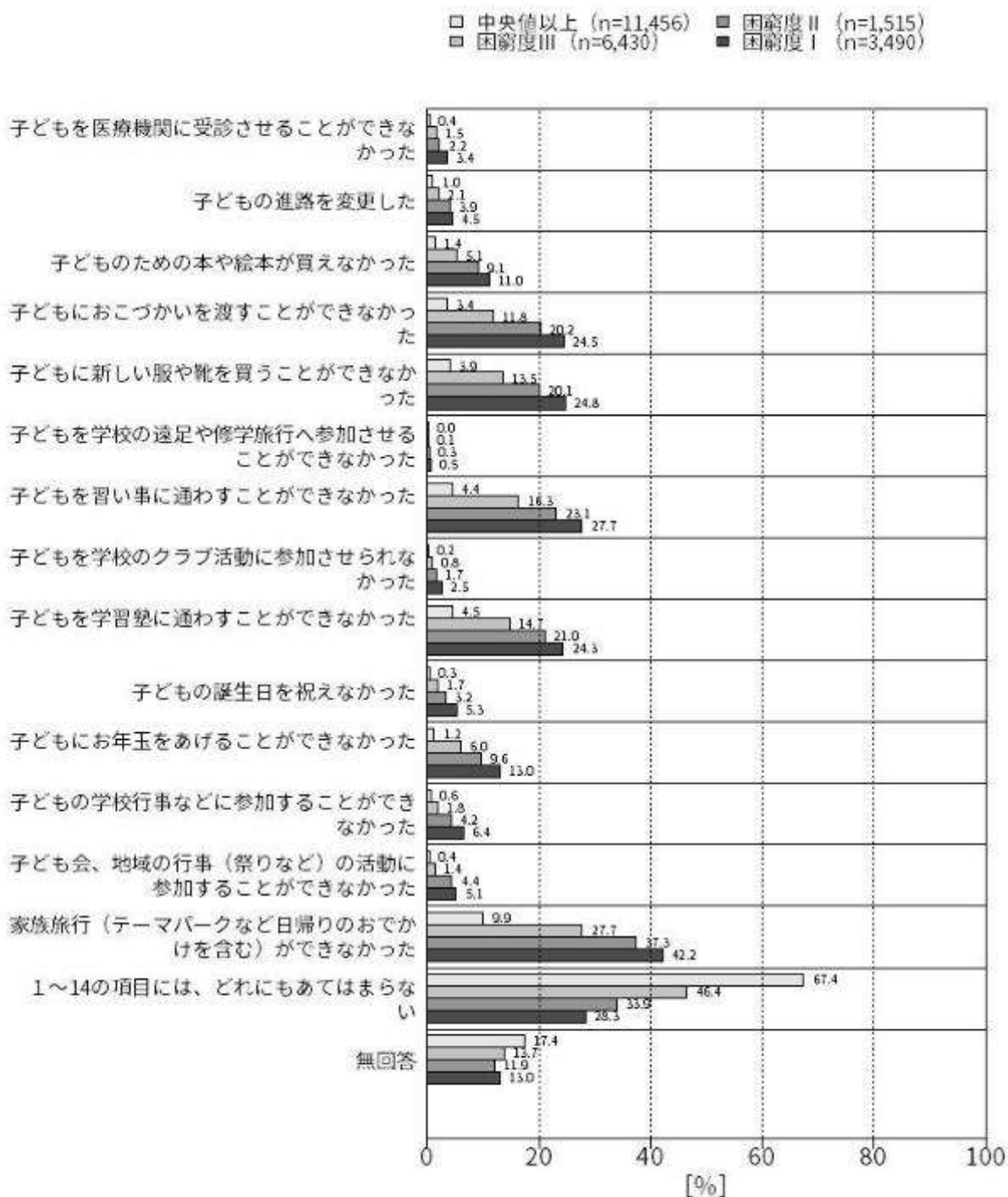
図 109. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験

※困窮度については図 5 参照。

困窮度別に経済的な理由による経験を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「敷金・保証金等を用意できないので、住み替え・転居を断念した」は12.1%（中央値以上群に対して、24.2倍）、「家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある」は15.2%（13.8倍）、「国民健康保険料の支払いが滞ったことがある」は24.2%（11.0倍）となり、困窮度Ⅰ群において高い項目が複数みられた。また、「どれにもあてはまらない」は、中央値以上群で41.5%なのに対して、困窮度Ⅰ群において6.1%であった。

困窮度別に見た、子どもについて経済的な理由による経験（保護者票 問 13）

<大阪市 24 区>



<大阪市福島区>

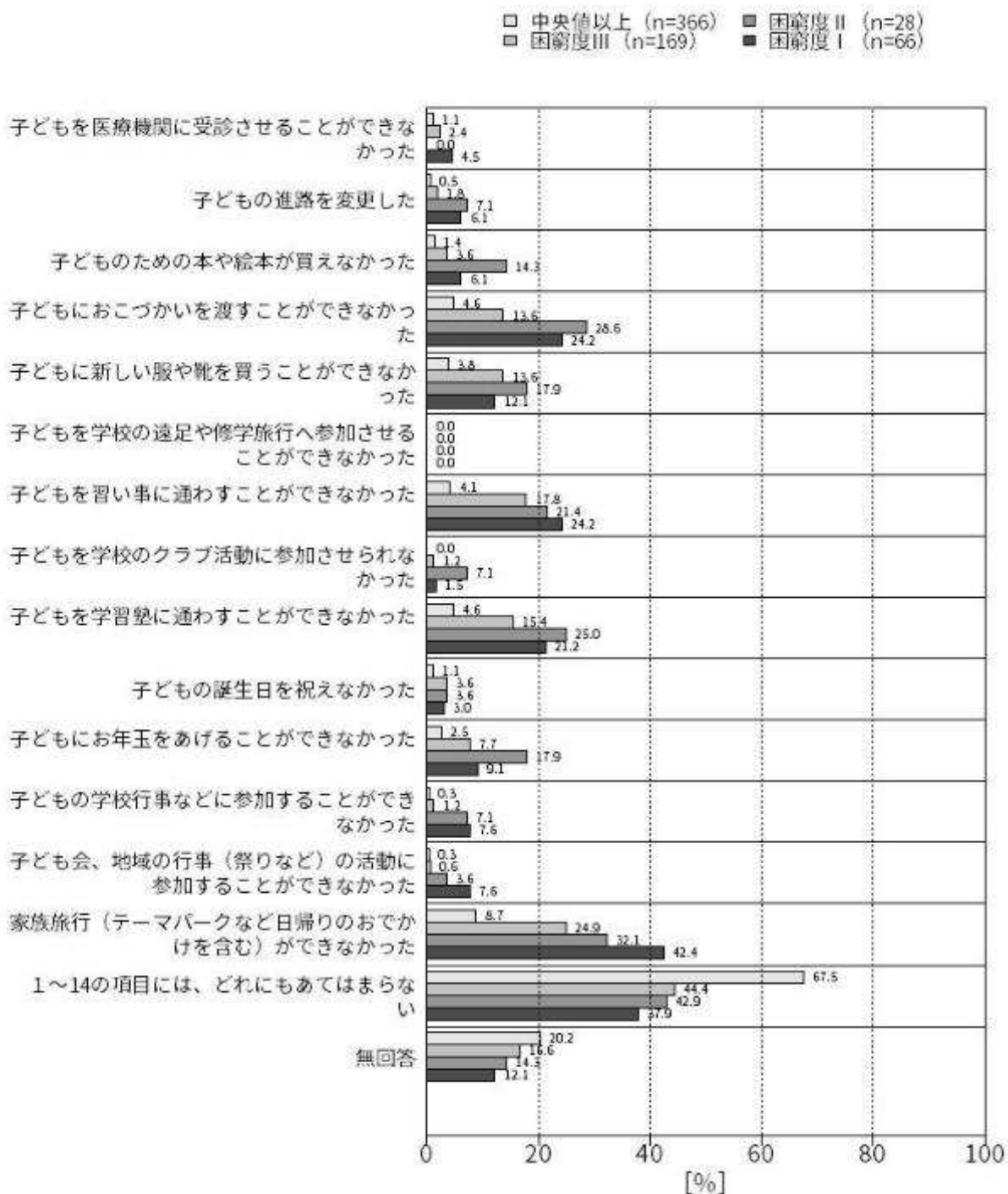
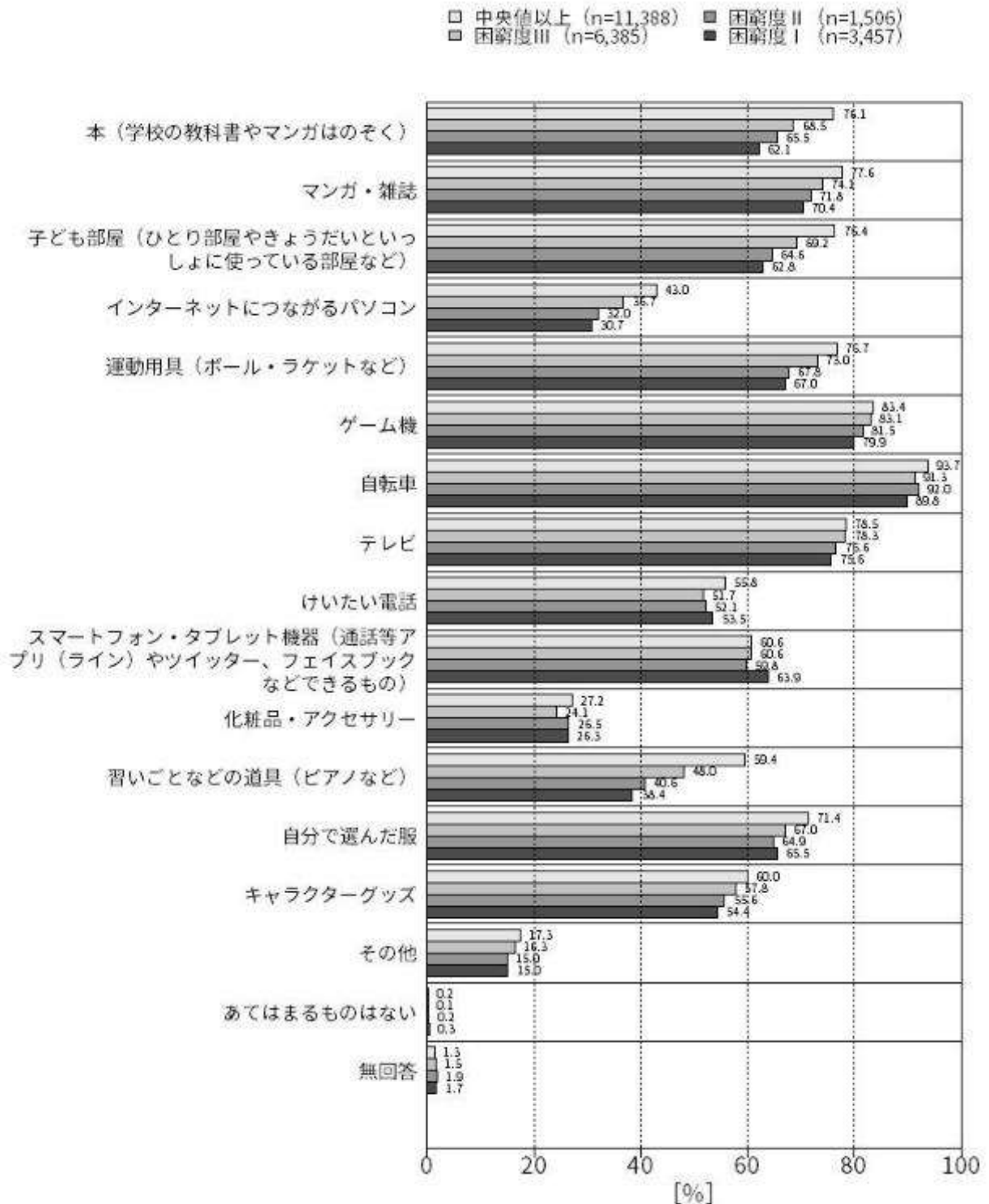


図 110. 困窮度別に見た、子どもについて経済的な理由による経験

困窮度別に子どもへの経済的な理由による経験を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「子ども会、地域の行事（祭りなど）の活動に参加することができなかった」は7.6%（中央値以上群に対して、25.3倍）、「子どもの学校行事などに参加することができなかった」は7.6%（25.3倍）、「子どもの進路を変更した」は6.1%（12.2倍）となり、困窮度Ⅰ群において高い項目が複数みられた。

困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの（子ども票 問 25）

<大阪市 24 区>



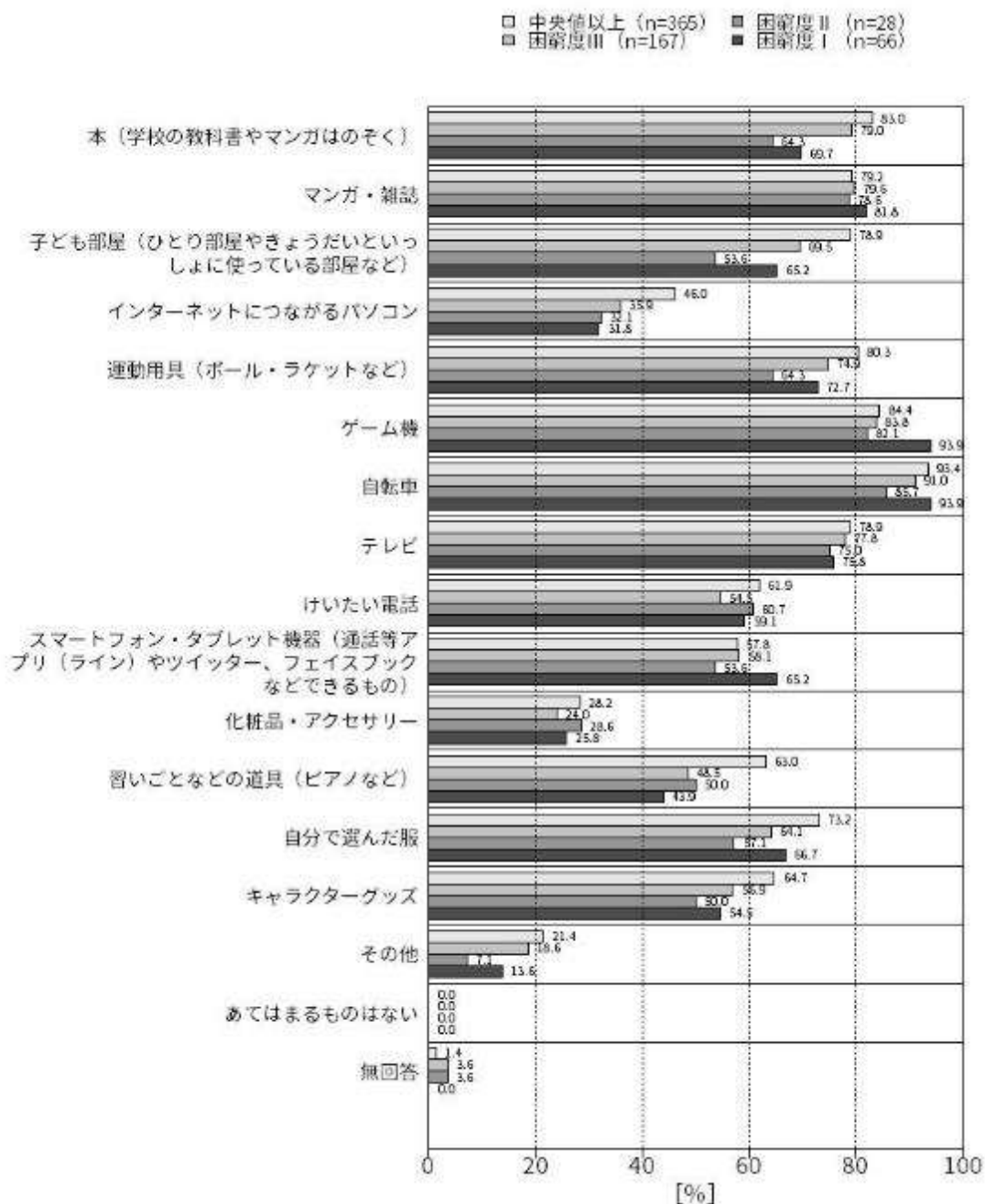
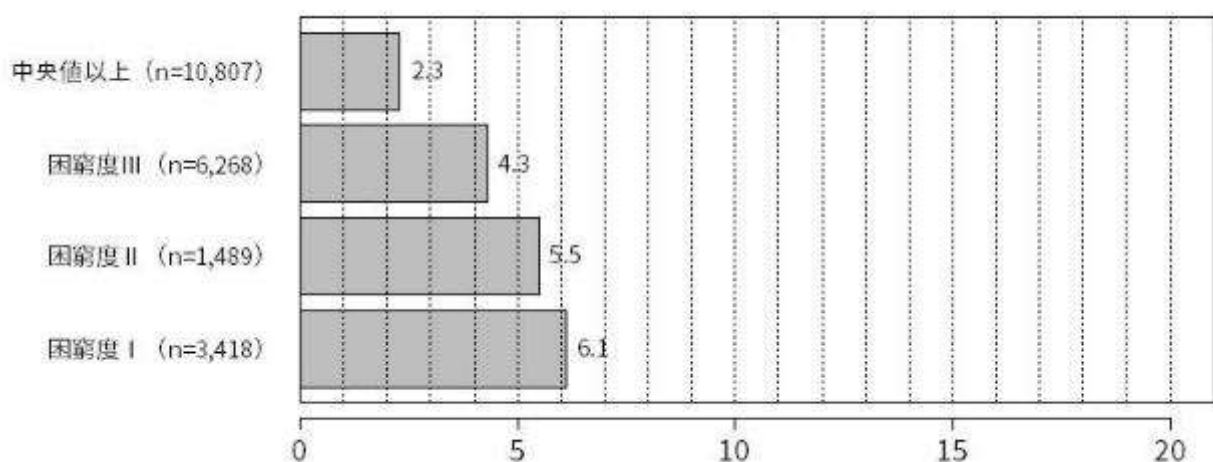


図 111. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの

困窮度別に子どもの持っているもの、使うことができるものを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、中央値以上群の数値を挙げると、「インターネットにつながるパソコン」46.0%（困窮度Ⅰ群に対して、1.4 倍）、「習いごとなどの道具（ピアノなど）」63.0%（1.4 倍）、「本（学校の教科書やマンガはのぞく）」83.0%（1.2 倍）、「子ども部屋（ひとり部屋やきょうだいといっしょに使っている部屋など）」78.9%（1.2 倍）、「キャラクターグッズ」64.7%（1.2 倍）となり、中央値以上群において高い項目、すなわち困窮度Ⅰ群においては低い項目が複数みられた。困窮度が高いことでこれらを持っていない、使うことができないことは、子どもの生活や将来に影響を及ぼす可能性がある。

<大阪市 24 区>



<大阪市福島区>

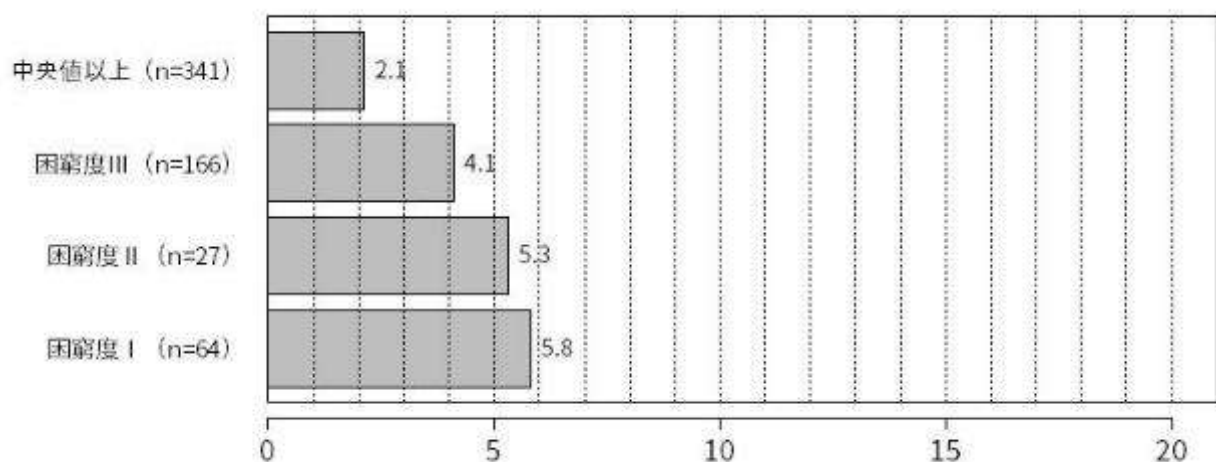


図 112. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均

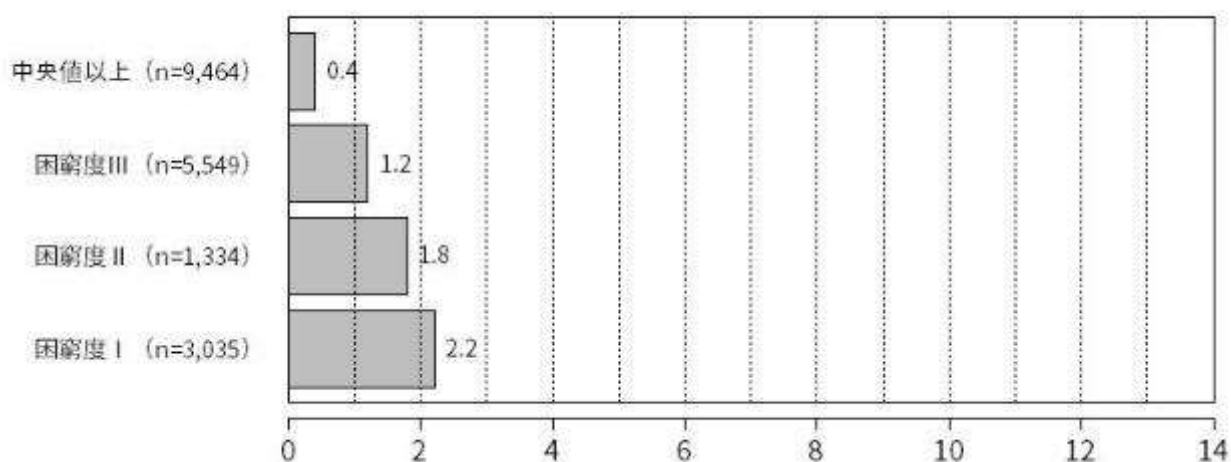
経済的な理由による経験として示した 21 個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、困窮度が高くなるにつれ、経済的な理由による経験の該当数は多くなっていることがみられた。

困窮度と経済的な理由による経験の該当数についてさらに詳細に検討した結果、該当なし（どれにもあてはまらない）、1～6 個に該当、7 個以上に該当、の 3 群に分けることができた。図 193 および図 195 では、これらの結果と体や気持ちで気になることとの関連を示している。これは、最低限度の生活に必要なものの 1 つである健康を、所得を基に計算される困窮度だけでなく、具体的な充足の程度と関連して把握するためである。

困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均（保護者票 問 13）

<大阪市 24 区>



<大阪市福島区>

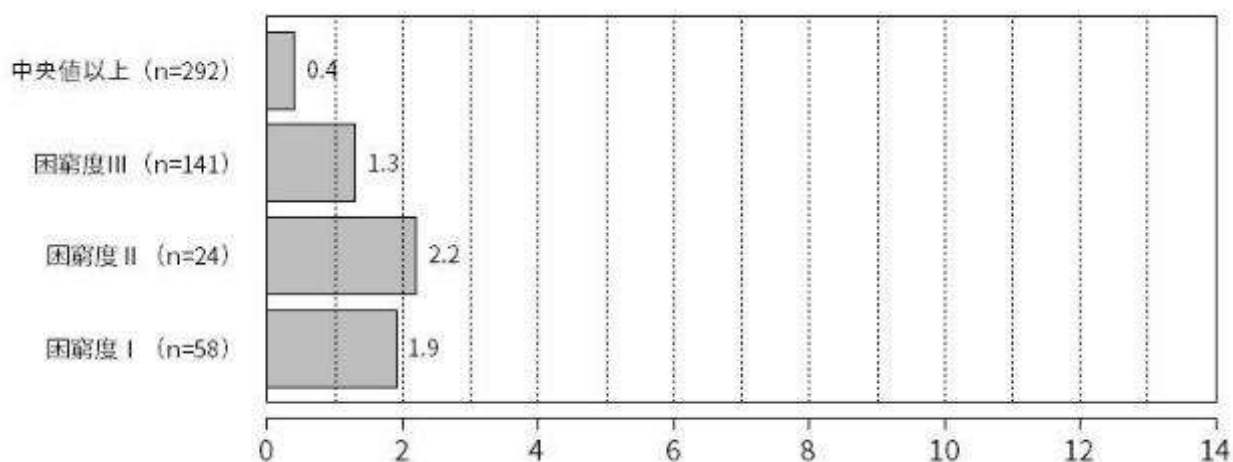


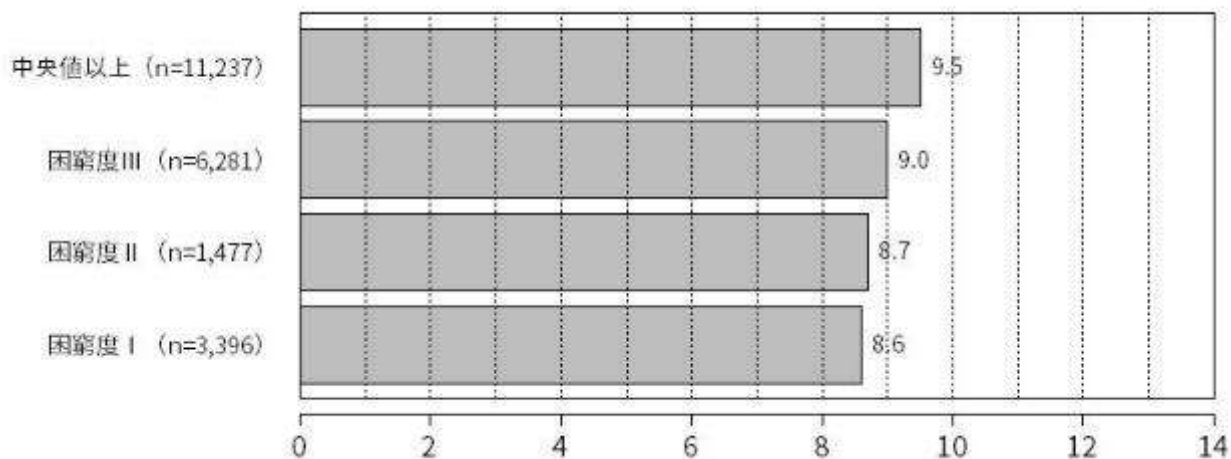
図 113. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均

子どもに関して経済的な理由による経験として示した 14 個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、中央値以上群では 0.4 個、困窮度Ⅰ群では 1.9 個と経済的な理由で子どもにできなかったことの該当数に違いがある様子がみられた。

困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均
(子ども票 問 25)

<大阪市 24 区>



<大阪市福島区>

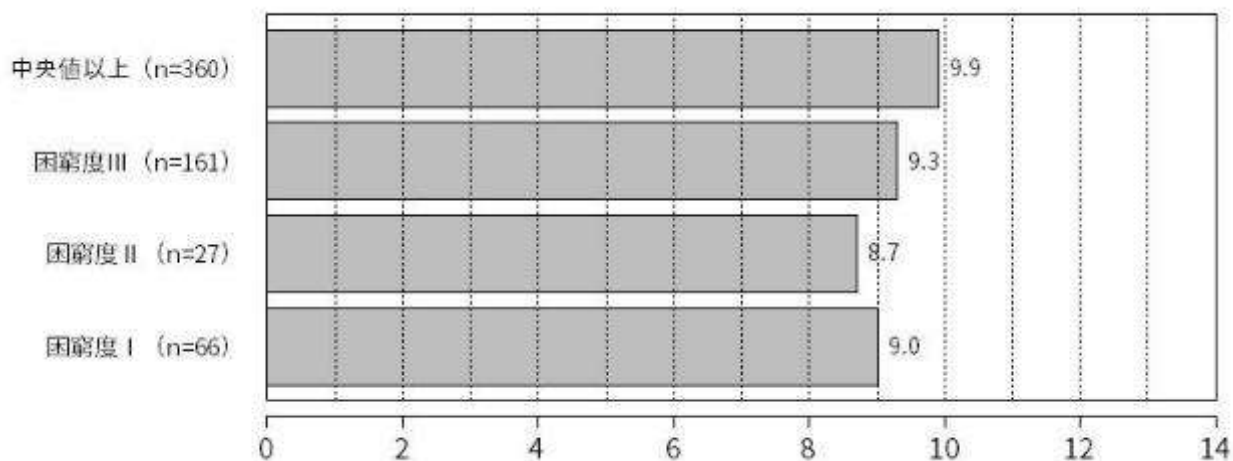


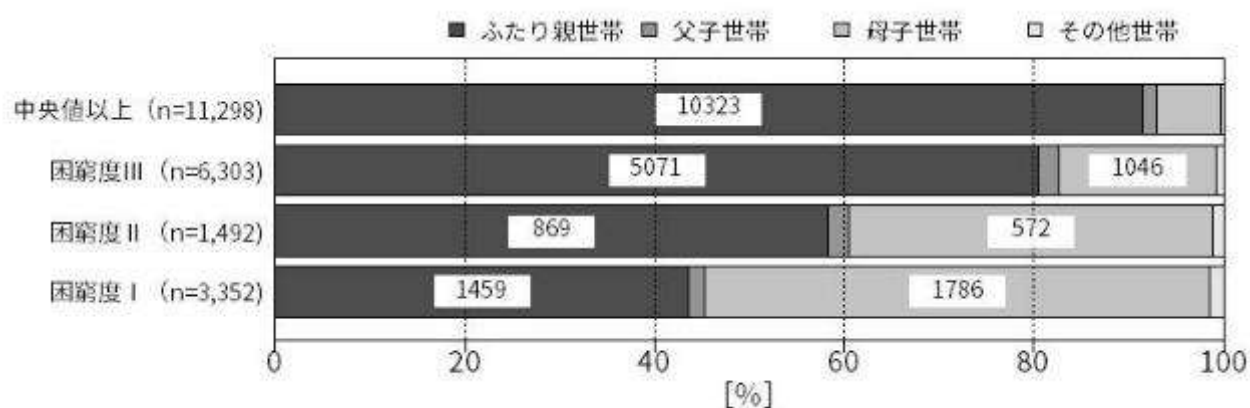
図 114. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均

子どもの持っているもの、使うことができるものとして示した 14 個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、中央値以上群では 9.9 個、困窮度 I 群では 9.0 個であった

困窮度別に見た、世帯員の構成（保護者票 世帯構成）

<大阪市 24 区>



<大阪市福島区>

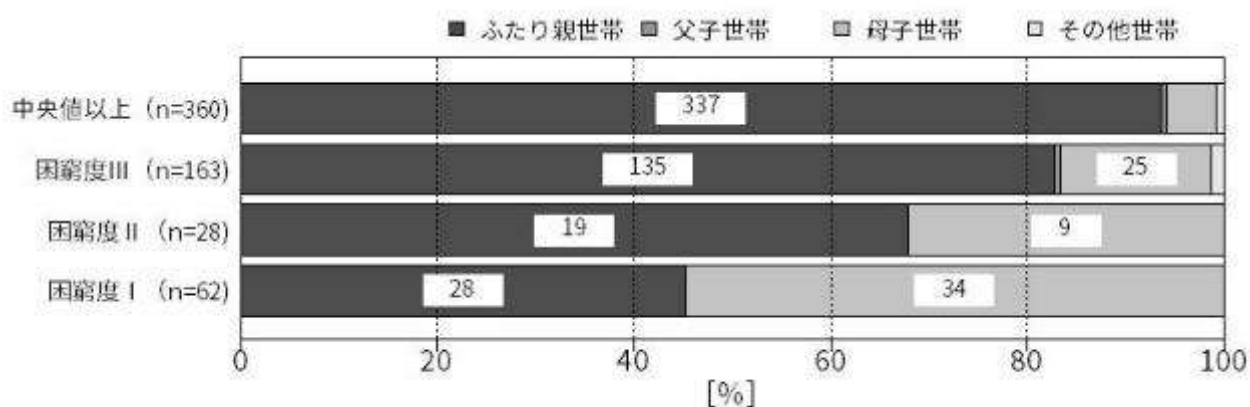
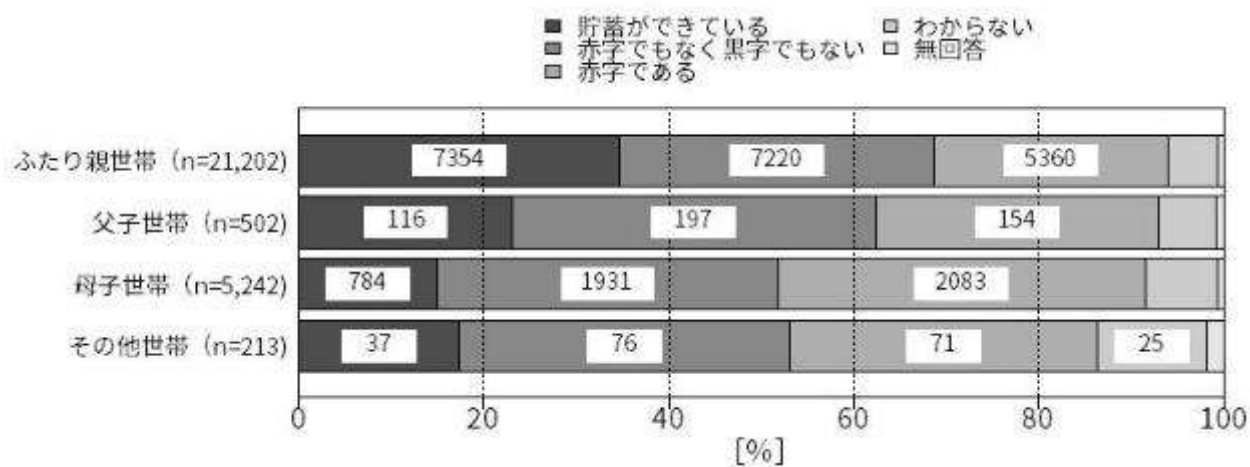


図 115. 困窮度別に見た、世帯員の構成

困窮度別に世帯員の構成を見ると、「ふたり親世帯」と回答したのは、中央値以上群が 93.6%であったのに対して、困窮度Ⅰ群は 45.2%だった。また、「母子世帯」と回答したのは、中央値以上群が 5.0%であったのに対して、困窮度Ⅰ群は 54.8%だった。

世帯構成別に見た、家計状況（保護者票 問6(1)）

<大阪市24区>



<大阪市福島区>

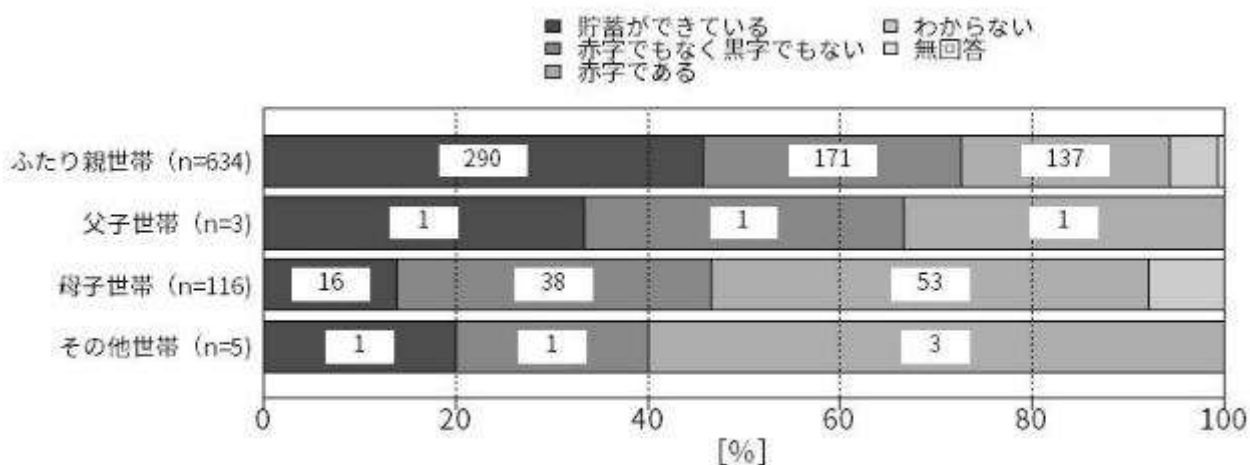
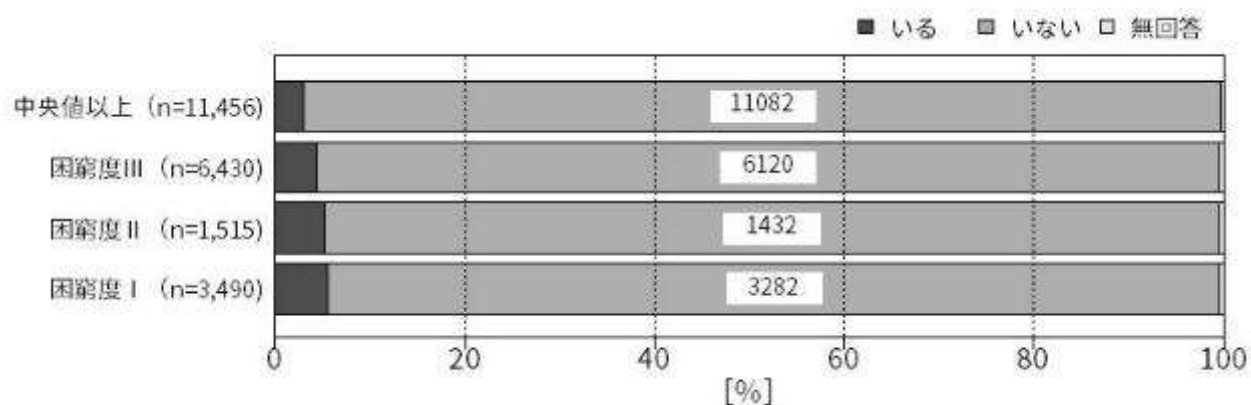


図 116. 世帯構成別に見た、家計状況

世帯構成別に家計状況を見ると、「貯蓄ができている」と回答したのは、ふたり親世帯が 45.7%なのに対して、母子世帯は 13.8%だった。また、「赤字である」と回答したのは、ふたり親世帯が 21.6%なのに対して、母子世帯は 45.7%だった。

困窮度別に見た、介護または介助の必要な方（保護者票 問3(1)②）

<大阪市24区>



<大阪市福島区>

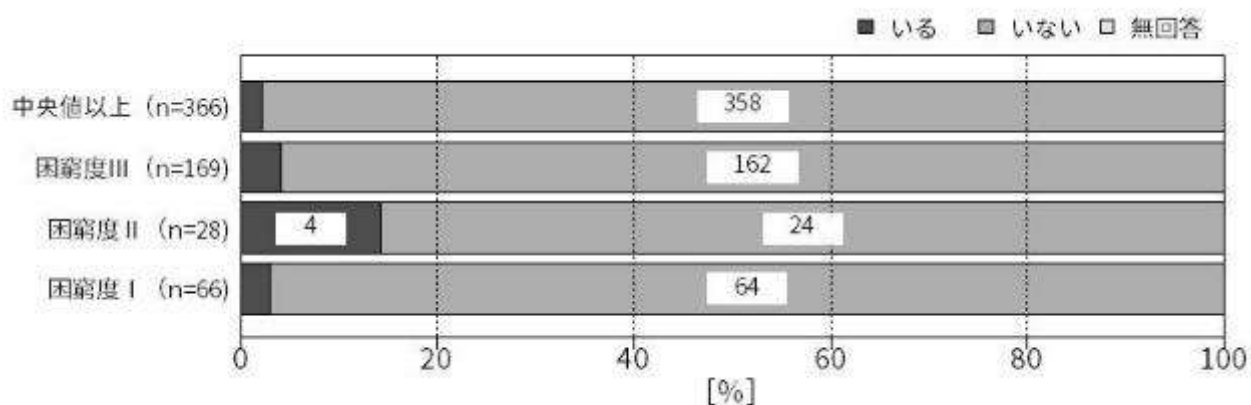
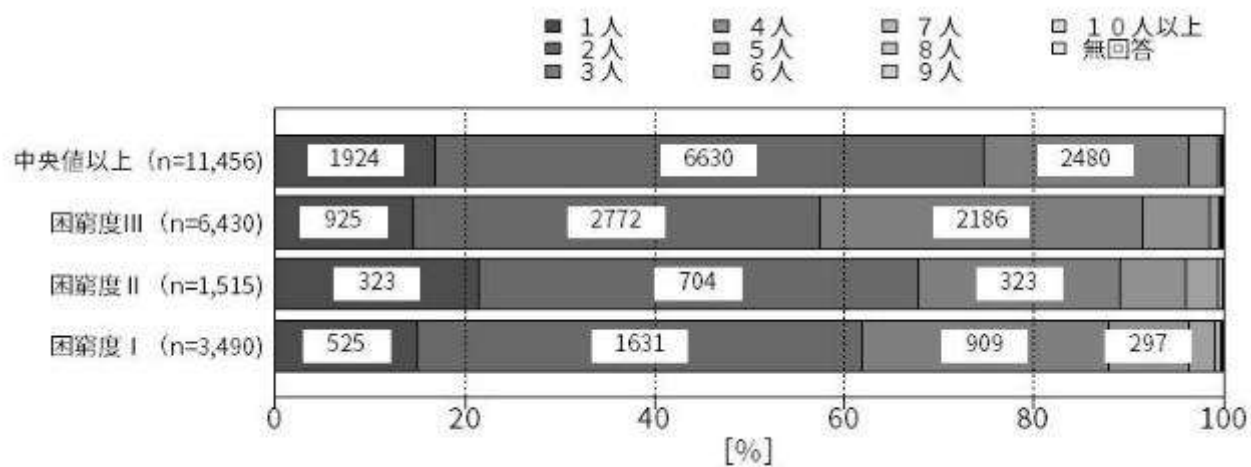


図 117. 困窮度別に見た、介護または介助の必要な方

困窮度別に介護または介助の必要な方を見ると、中央値以上群では「いる」と回答した割合が2.2%であったのに対して、困窮度Ⅰ群では3.0%であった。

困窮度別に見た、子どもの人数（保護者票 問3(1)③）

<大阪市24区>



<大阪市福島区>

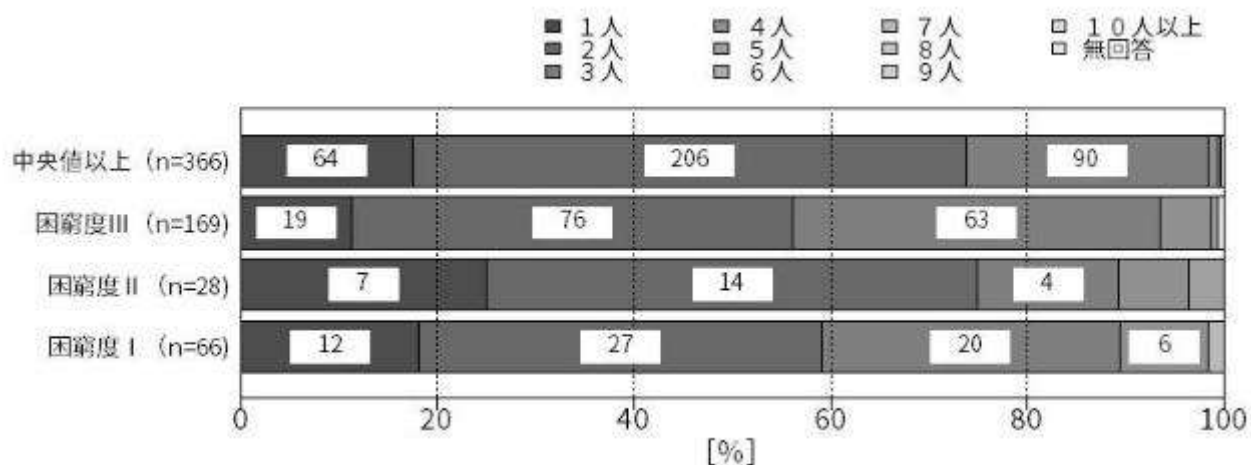
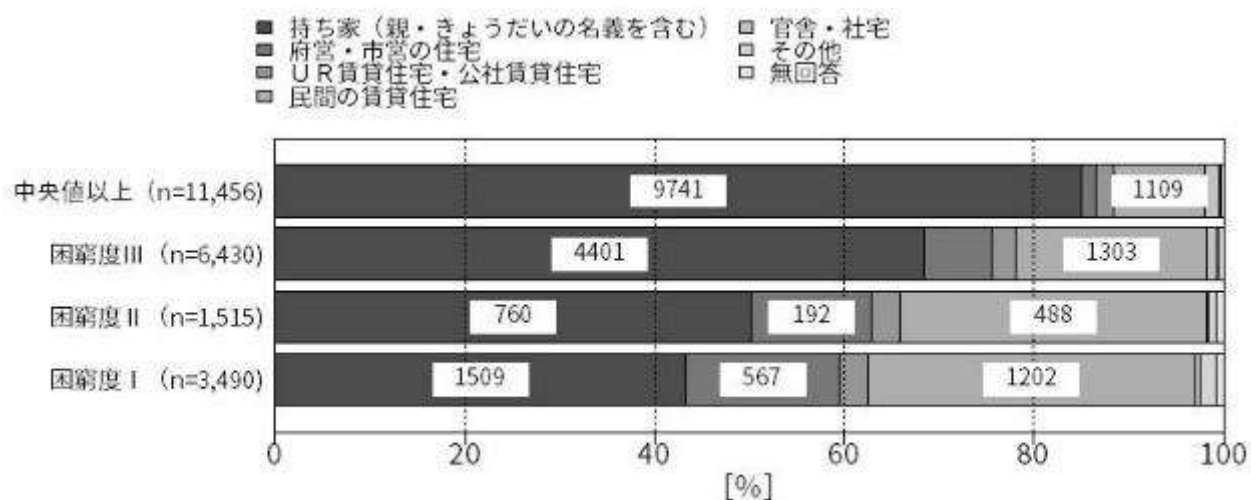


図 118. 困窮度別に見た、子どもの人数

困窮度別に子どもの人数を見ると、中央値以上群において3人以上が26.0%であったのに対して、困窮度Ⅰ群では、40.9%であった。

困窮度別に見た、住居（保護者票 問 4）

<大阪市 24 区>



<大阪市福島区>

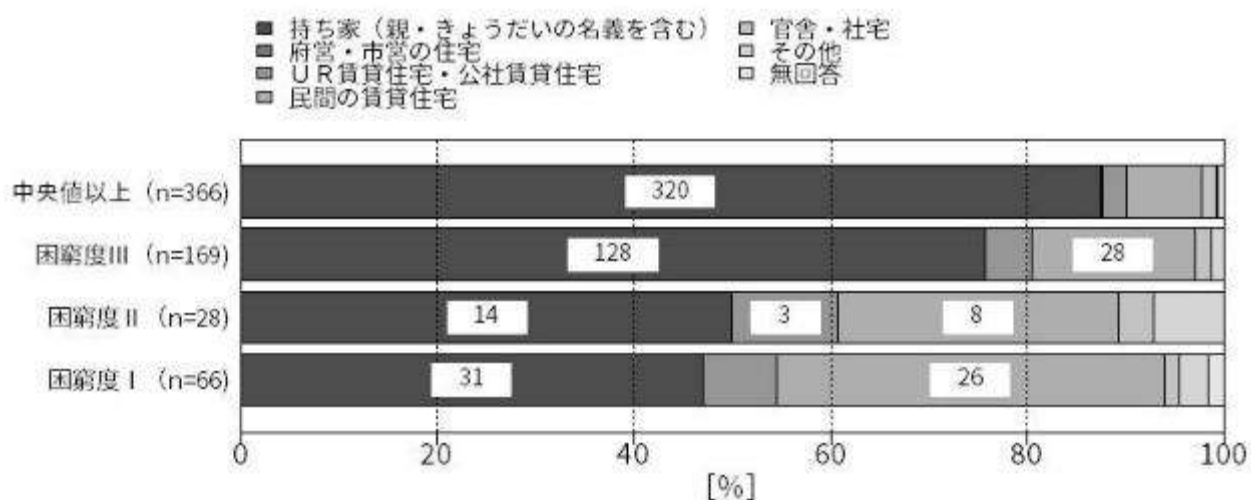
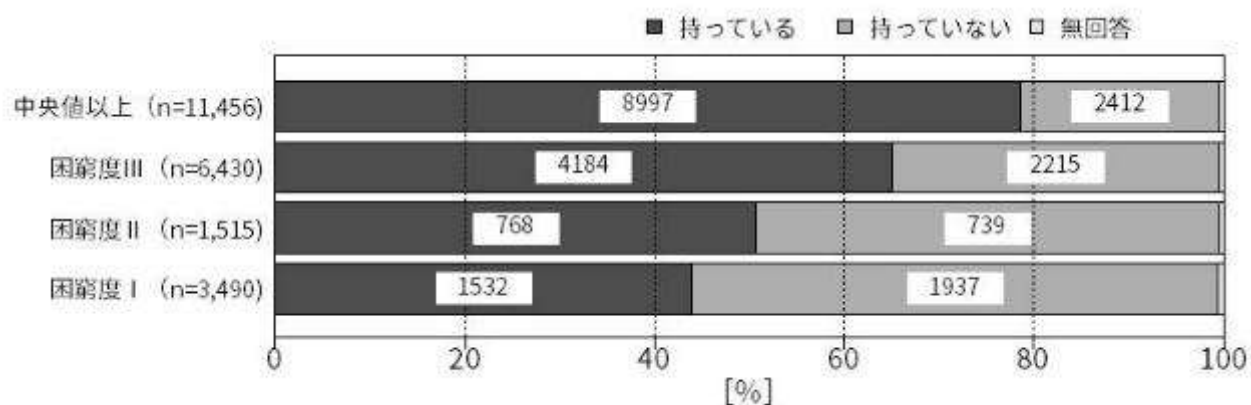


図 119. 困窮度別に見た、住居

困窮度別に住居を見ると、中央値以上群では、「持ち家」と回答した割合は 87.4%であったのに対して、困窮度Ⅰ群では、47.0%であった。

困窮度別に見た、自家用車の所有（保護者票 問5）

<大阪市24区>



<大阪市福島区>

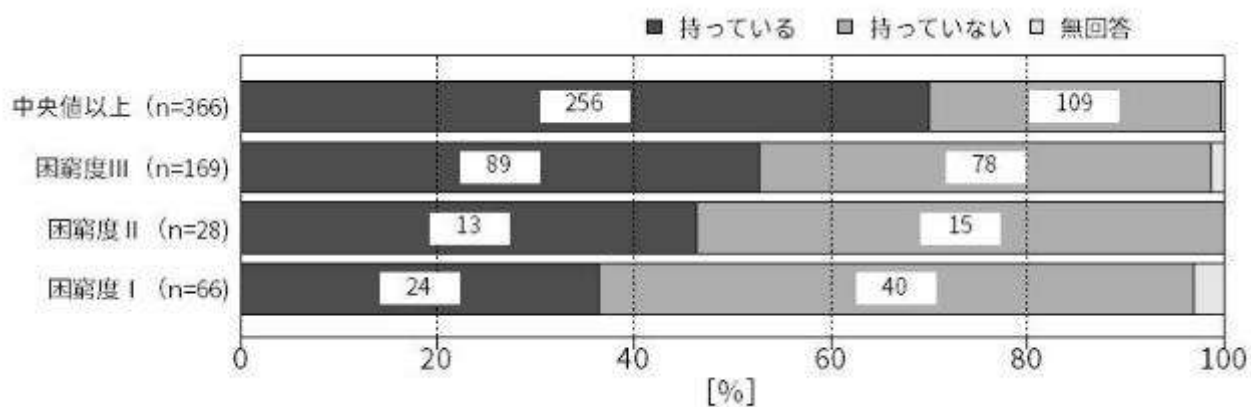


図 120. 困窮度別に見た、自家用車の所有

困窮度別に自家用車の所有を見ると、中央値以上群では、車を所有している世帯が 69.9%であったのに対して、困窮度Ⅰ群では 36.4%であった。